

岐阜大学社会システム経営学環
学生の確保の見通し等を記載した書類

国立大学法人
東海国立大学機構

令和 2 年 7 月

目次

1	人材需要の動向等社会の要請及び経営/マネジメント人材の育成	1
2	学生の確保の見通し	1
(1)	入学定員設定の考え方	1
(2)	定員を充足する見込み	2
(3)	定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	3
(4)	学生納付金の設定の考え方	3
3	社会的・地域的な人材需要動向を踏まえたものであることの客観的な根拠	4
(1)	企業の動向	4
(2)	自治体の動向	4
4	学生の確保に向けた今後の取り組み	4
(1)	学環案内(リーフレット・パンフレット)の制作・配布	5
(2)	ウェブサイトでの広報活動	5
(3)	オープンキャンパス	5
(4)	高等学校での説明会, 出前授業	5

1 人材需要の動向等社会の要請及び経営／マネジメント人材の育成

岐阜県が抱える課題は、産業やまちづくり、観光など、経済活動や生活を支える様々な分野に存在しており、今後さらに深刻化する可能性が高い（詳細は「岐阜大学社会システム経営学環設置の趣旨等を記載した書類（以下、設置趣旨）」の1（1）を参照）。これらの課題は、岐阜県固有のものではなく、日本の地域社会が抱える問題でもあり、解決への糸口として、特定の産業や各分野に精通した高度な専門的知見に加え、デザイン経営的な視点によるマネジメントの要素からアプローチができる能力を備えた、次世代を担い地域を牽引する人材の育成が求められている。（設置趣旨1（2）参照）。実際に地域のステークホルダーからは、地域経済の活性化や地方創生の実現に貢献できる人材の育成への期待が表明されている（添付資料1参照）。

以上を踏まえ、地域活性化の中核拠点としての活動を可視化しつつ、地域に根差した高等教育機関として、活力ある社会システムの実現に貢献できる人材を輩出するために、ステークホルダーからのニーズも高い経営／マネジメント教育部門として、「社会システム経営学環」を学部等連係課程制度に基づき設置することとした。

本学環は、既存学部等が今までに取り組んできた事業で培ったノウハウ・実績・地域社会とのつながり、教育研究院による柔軟な学内の人的資源のコーディネート、全ての学部・研究科等が1つのキャンパスにある特徴等を積極的に活かし、さらには地域のさまざまな資源も活用することで、異なる専門分野間の連携を強め、社会が真に求める課題解決に取り組むため、経営／マネジメント教育を担う教育課程を構築する（設置趣旨1（2） 3参照）。

また本学環の教育は、ビジネス・まちづくり・観光の3視点から、新たな発想や実践によって問題を解決して時代を拓く能力を持つ人材、企業、自治体、各種団体の経営を協働的かつ主体的に担うことができる人材を養成し輩出することを目的とする。

2 学生の確保の見通し

本学は人文・社会科学系学部として地域科学部を有しているが、経営学系などを志望する県内の学生のニーズには必ずしも応えられておらず、優秀な学生が県外へ流出する一因ともなっている。このため、地域への人材定着を促進する人材確保・供給機能の強化に向けて一層取り組むことが求められている（設置趣旨1（1） - 2参照）。一方で対象となる高校生の経営／マネジメント分野に対する関心や学生の確保の見通しに関する具体的な統計資料はない。そのため、本学環の設置に向けて、高校生・高校教員からのニーズを把握するため、アンケート調査を実施した（添付資料2，3参照）。

（1） 入学定員設定の考え方

本学は、地域活性化の中核拠点としての活動を可視化しつつ、地域に根差した高等教育機関として、活力ある社会システムの実現に貢献できる人材を輩出するために、ステークホルダーからのニーズも高い経営／マネジメント教育部門として、「社会システム経営学環」を学部等連係課程制度に基づき設置することとした。本学環は、以下の6つの特色ある教育手法（学部横断的教育、アクティブ・ラーニング、課題解決型（PBL型）実習による実践的な学修、往還型教育、混在型教育、COC+事業）を用いることで、学生本位の教育を行う（設置趣旨4（5）参照）。

その中のアクティブ・ラーニングにおいては、本学で定められたアクティブ・ラーニングの定義を踏まえ、社会システム経営学環の全授業科目を対象に、リフレクション（振り返り・省察）、学修ポートフォリオ、コメントシート（意見・感想）、グループワーク、プレゼンテーションのアクティブ・ラーニング5要素の内、少なくとも2つ以上をそれぞれ導入することで、学生の学修意欲の向上を図る。これらの取組みを実質的及び効果的に行うためには、教員等のきめ細かい支援が必要となる。

また、課題解決型（PBL型）実習による実践的な学修として、1年次にマネジメント活動実習、2年次にビジネスデザイン実習、まちづくりデザイン実習、観光デザイン実習を配置し、企業、自治体、各種団体をフィールドとした実践的な実習を行う。実施に当たっては、それぞれのフィールドで文脈を理解し、課題発見、解決策の検討、成果の還元を実践的に学ぶPBL型授業の実施、実習あるいは講義を単独で実施するのではなく、実習とそれに関連する講義が交互に繰り返し行われる往還型教育の実施、さらには複数学年の学生が混在して一部の実習を共に行う混在型教育を行う。このような実践的な実習を行うには、学生一人一人の進捗状況を確認し、その都度適切な指導が求められるとともに、実習先との入念な事前準備等が必要となる。

一方、教育の質保証の観点からも、ST比は重要である。本学全体におけるST比の10.2（「岐阜大学IR室分析報告（平成28年度版）」より）を基準とし算出すると、本学環の14名の専任教員が受け持つ学生数は143名、一学年当たり36名となるが、先述のとおり特色ある教育手法を行うこと及び専任教員の多くは連係協力学部の教育等も担うことから受け持つ学生数を通常よりも少なくする必要がある。

以上のとおり、教育的視点及び教員組織を踏まえ、本学環の教育効果を最大限に引き出すには、一学年当たり30名が適切である。

なお、通常の学部とは異なる学部等連係課程である本学環では、組織編成上の理由で学生の帰属意識の醸成を図る必要がある。「インナーブランディングの実施」、「助言教員制度の確実な実施」、「学生間のコミュニケーション機会の設定」、「共有スペースの確保」により、本学環への帰属意識を持たせ、本学環で学ぶというモチベーションを維持する取り組みを行うが、特に、「助言教員制度の確実な実施」、「学生間のコミュニケーション機会の設定」については、小規模であることで、効果をより高めることができる（設置趣旨6（3）参照）。

（2） 定員を充足する見込み

アンケートの結果、非常に多くの高校生が本学環に対して興味関心を持つとともに進学の意向を示し、入学定員を十分に確保できることが裏付けられた（詳細は「定員充足の根拠となる客観的なデータ」参照）。

また、平成13～29年度における本学地域科学部を一般入試で志願した学生の併願先は、経済・経営・商学部を希望する者が32%となっていること、平成22～27年度における岐阜県内の高等学校から進学した生徒数が多い国立大学経済・経営学部は、滋賀大学経済学部（344名）、富山大学経済学部（175名）、名古屋大学経済学部（153名）、横浜国立大学経営学部（42名）、信州大学経済学部（40名）、神戸大学経営学部（17名）となっていることから、経済・経営・商学分野への進学を志す学生は多く、このような学生が本学環への入学を希望することも推測される。

(3) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

本学環の設置構想にかかる方向性等を確認するため、本学への進学実績を考慮し、最も多くの志願者が見込まれる岐阜県内高等学校9校、愛知県内高等学校3校の2年生1,746名に対し、岐阜県高等学校長協会、愛知県公立高等学校長会等の協力を得て、アンケート調査を実施した(添付資料2参照)。このアンケート調査の結果12校1,746名(男性661名、女性1,075名、無回答10名)から回答が得られた。

調査では、本学環に「是非進学したい」と回答した生徒は86名(4.9%)で、「進学先の1つとして検討したい」と回答した生徒504名(28.9%)と合わせて、590名(33.8%)が、本学環への進学の意向を持っているとの結果が得られた。

また、岐阜県内高等学校の生徒で国立大学への進学を希望し、学びたい分野が岐阜県内にないと回答した者は246名おり、その者の学びたい分野をクロス集計すると、商学・経済学・経営学が78名、国際学が64名、法学が58名となり、岐阜県内に本学環を設置する必要性が読み取れる。

さらには、本学環の特色の中で、「とても魅力を感じる」、「ある程度魅力を感じる」と回答した生徒数は有意に差がなく、すべて50%を超えており、特に多かった項目は、「体系的フィールドワーク」(64.8%)、「観光デザインプログラム」(64.5%)であった。このことから、本学環の教育内容に興味を持つ生徒が多いことを意味しており、今後、志望する生徒が増える可能性を示唆している。

生徒と同じ高等学校の教員に対してもアンケートを行い、155名の教員から回答が得られた(添付資料3参照)。岐阜大学に本学環が必要だと思うかという設問に対して、是非必要だと思うが35名(22.6%)、必要だと思う54名(34.8%)で、あわせると89名(57.4%)の教員が本学環の設置について肯定的であり、本学環への進学を薦めたいかという設問に対して、積極的に薦めたいが32名(20.6%)、薦めたいが60名(38.7%)で、あわせると92名(59.3%)の教員が本学環への進学を生徒に進めたいと考えていることがわかった。

「積極的に薦めたい」と答えた教員からはその理由として、「岐阜の活性化のため地域のために学んで還元してほしい」、「地域課題に対応した教育がなされるから」、「岐阜に愛着をもってくれる人材が増える」といった地域への貢献を求める意見や、「経営学を専門とした課程のある国公立大学が近くになるため」、「中部エリアにできれば、進学先の幅が広がる」といった経営学に関する地域での進学選択可能性を示唆する意見もあった。

(4) 学生納付金の設定の考え方

文部科学省令「国立大学の授業料その他の費用に関する省令」に基づき、「岐阜大学授業料等の料金に関する規程」のとおり設定する。

3 社会的・地域的な人材需要動向を踏まえたものであることの客観的な根拠

平成 27 年～平成 30 年の本学卒業生の 38.7%が、岐阜県内の企業や自治体等に就職し、地域にとって重要な人材供給機関としての役割を担ってきた。本学環の学生には、社会システムを構成する企業及び自治体、各種団体等において、課題解決に取り組むことが期待されている。そこで本学環が社会的・地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠を提示するため、企業及び県内市町村に対してアンケートを実施した（添付資料 4、添付資料 5）。

（1）企業の動向

岐阜県、愛知県を中心に多くの企業（254 社）にアンケートを実施したところ、153 社（回収率 60.2%）から回答が得られた（添付資料 4 参照）。岐阜大学に本学環が必要だと思うかという設問に対して、是非必要だと思うが 54 社（全回答企業数の 35.3%）、必要だと思う 91 社（59.5%）で、あわせると 145 社（94.8%）が本学環の設置について肯定的であることが分かった。本学環で輩出する学生が身に着ける能力（としてディプロマ・ポリシー）について、全ての項目において「とても意義を感じる」、「ある程度意義を感じる」が 70%を超えており、さらに、本学環を卒業する学生について採用の意向を調査した結果、「積極的に採用したい」が 71 社（46.4%）、「採用したい」が 38 社（24.8%）と、合計 109 社（71.2%）が本学環を卒業する学生の採用に興味を示している。また、本学環の特色の中で、「とても魅力を感じる」、「ある程度魅力を感じる」と回答した企業数が多かった項目は、「基礎的な学習内容」（94.1%）、「体系的フィールドワーク（91.5%）であった。このことから、本学環に対する企業の要望は高く、将来的に人材輩出の受け入れ先として期待されることが示唆される。

（2）自治体の動向

岐阜県内の市町村（42 自治体）にアンケートを実施したところ、回答があったのは 20（回収率 47.6%）であった（添付資料 5 参照）。岐阜大学に本学環が必要だと思うかという設問に対して、是非必要だと思うが 6（全回答自治体の 30.0%）、必要だと思う 14（70.0%）で、合わせると 20 自治体（100.0%）が本学環の設置について肯定的であることが分かった。本学環で輩出する学生が身に着ける能力（としてディプロマ・ポリシー）について、全ての項目において「とても意義を感じる」、「ある程度意義を感じる」が 70%を超えており、さらに、本学環を卒業する学生について採用の意向を調査した結果、「積極的に採用したい」が 6（30.0%）、「採用したい」が 7（35.0%）と、合計 13 自治体（65.0%）が本学環を卒業する学生の採用に興味を示している。また、本学環の特色の中で、「とても魅力を感じる」、「ある程度魅力を感じる」と回答した自治体が多かった項目は、「基礎的な学習内容」（90.0%）、「まちづくりデザインプログラム」（100.0%）、「観光デザインプログラム」（95.0%）であった。本学環の教育内容とりわけ地方自治に大きく関わるまちづくり・観光に関わる実習を基礎から実践まで実施することに対する期待が大きいことが示された。

4 学生の確保に向けた今後の取り組み

アンケートの結果より学生の確保及び社会からの人材需要は、一定の見通しが立つことが予想された。しかし自由記述欄において、期待する声が多く記載されている一方で、学部等連係課程制度や既存大学・学部との違い、本学環の教育内容等の説明不足に対する意見もあった。そのため、今後も本学環

の教員が高校や企業、自治体へ直接説明する機会等を作るなどして積極的に周知活動を展開する必要がある。具体的には以下の様々な取り組みを行う。

(1) 学環案内(リーフレット・パンフレット)の制作・配布

通常の学部ではなく学部等連係課程という新たな制度で設置される本学環について高校生や教員、父兄の理解を得るために、本学環について説明したリーフレット、パンフレットを制作し、配布する。またこれらの資料は、配布する以外に、高等学校等での大学説明会、出前授業で説明資料として使用する。

(2) ウェブサイトでの広報活動

本学 HP への掲載及び本学環 HP を新たに作成し、周知を行う。特に、令和2年度中は入試を中心とした情報提供に努める。

(3) オープンキャンパス

令和2年8月に全学で実施予定の本学オープンキャンパスにあわせて、本学環においても教育内容や入試等について詳細な説明を行うとともに、模擬授業、教員との意見交換により、周知を図る。

(4) 高等学校での説明会、出前授業

岐阜県、愛知県の高등학교に対して、本学環の教員が直接出向いて、経営/マネジメント分野の授業及び本学環の入試、教育内容について説明するとともに、高校生の質問に答える機会を設定する。また、「岐阜県高等学校長代表者と岐阜大学との懇談会(例年7月開催)」において説明の機会を設定し PR を行う。

添付資料目次

- 添付資料 1 ステークホルダーからの要望書
- 添付資料 2 高校の生徒を対象としたアンケートの概要及び結果
- 添付資料 3 高校の教員を対象としたアンケートの概要及び結果
- 添付資料 4 企業を対象としたアンケートの概要及び結果
- 添付資料 5 自治体を対象としたアンケートの概要及び結果

3 本学のステークホルダー及び地域からの要望

岐阜県経営者協会、岐阜商工会議所、岐阜県経済同友会及び岐阜県高等学校長協会から本学に対して、地域に貢献できる人材育成のための要望書が提示されており、「経営／マネジメント」人材の育成が求められている。

就職先は、一般企業に加え、官公庁、NPO法人、日本版DMO (Destination/Marketing, Management/Organization) 及び地域社会の基盤を支えるファミリービジネスの後継者等を想定しており、このことは、県内の経営者諸団体からも要望されている。

平成23年度から平成27年度までの5年間に経営協議会において学外委員から出された経営／マネジメント教育実施の要請、村瀬十六銀行頭取と学長が対談した際に村瀬氏から出された「岐阜地域の特性を持ったマネジメント人材の養成」の要請、及び岐阜地域の経営者等で構成される岐阜県経営者協会、岐阜県経済同友会、岐阜商工会議所及び岐阜県高等学校長協会と意見交換を行った際に出された要望等を集約すると、経営やマネジメントの能力を身につけ、語学力をそなえ、地域経済が求める地域創生の実現に貢献できる人材育成を主眼に置いた、特色ある部門（経営学部）の創設が求められている。

【要望意見等の主な内容】

平成24年3月27日 第51回経営協議会 学外委員の発言

- ・岐阜大学にMBAコースを作ってはどうか。MBAの場合、自由にいろいろなところから入ってくる。入学時期も多様であり、総合大学でやるのがふさわしく、大変刺激になるのではないかと。

平成28年3月9日 森脇学長と村瀬十六銀行頭取の対談（抜粋）

- ・村瀬頭取：岐阜の産業を見ても、地場産業を含めてその大半がファミリービジネスです。現在の日本の大学では、アメリカのMBAに相当するような教育はなされていますが、地元で家業を継ぐ人や、企業を継続していく使命を持った人からすると、ギャップがあると感じます。そこで、例えば「ファミリービジネス学科」みたいなものが岐阜大学で創設できれば、全国から学生を呼び込めると思うのですが。

学長：実は大学の経営協議会の中でも、同様のご指摘を頂戴しています。そこで現在、経営やマネジメントをテーマに学べる部門を立ち上げるためのワーキンググループを準備しました。もちろんMBAを否定するわけではありませんが、中小企業の経営や事業承継、さらに最近増えているMBO（マネジメント・バイアウト／経営陣による買収）など、企業のマネジメントを網羅的に学べる場を作ってはどうかと検討を始めています。

村瀬頭取：欧州では家業をいかに継いでいくのかが大事な学問になりつつありますし、ぜひ岐阜大学でも人文系の学びを充実していただきたいですね。岐阜はものづくりが盛んですが、商業・観光も大切な産業ですから、そのあたりを学べる場を設けてほし

いです。

学長：とりわけ西濃・中濃地区はものづくりの印象が強いですが、就労人口を見てみるとサービス業が非常に多い。岐阜市は8割ほどがサービス業の従事者という見方もあるようで、地元の大学としてはこの部分も決して見逃せないと感じています。

平成28年7月6日 岐阜県高等学校長協会長との意見交換

・浅井会長（岐阜県立北高等学校長）と江馬理事が、岐阜大学における「経営／マネジメント教育」について意見交換を行った。

平成28年7月25日 岐阜県経営者協会会長との意見交換

- ・小野木会長（株式会社トーカイ 代表取締役社長）、大松副会長（岐阜プラスチック工業株式会社 取締役社長）、森脇学長、江馬理事が、岐阜大学における「経営／マネジメント教育」について意見交換を行った。
- ・トヨタ自動車の「改善」など、日々民間企業で行われている効率経営のための様々な取組を教育課程で展開する、いわゆる「実学」を重視すべきである。また、英語教育の必要性、インターンシップの重要性とその在り方についても指摘があった。
- ・「経営／マネジメント」人材育成に関する要望書が届けられた。

平成28年7月27日 一般社団法人岐阜県経営者協会からの本学に対する人材育成に関する要望書（抜粋）

貴学では、地域の拠点として地域活性化の大きな役割を担っていることから、さらに、地域経済の活性化に向け、地域創生の実現に貢献できる人材の育成につきまして、下記のとおり要望いたします。

記

経営やマネジメント、語学に加え、地域経済が求める人材育成を主眼に置いた特色ある部門（経営学部）の創設

平成28年9月1日 岐阜県商工会議所連合会からの本学に対する人材育成に関する要望書（抜粋）

地方創生の実現に向けて地域経済の振興・発展は必要不可欠であります。人口減少が進むなか、これを支える人材の確保に企業は大きな問題を抱えております。

つきましては、下記のとおり要望いたします。

記

- 1 「ファミリービジネス」の後継者育成等事業承継に繋がる経営者としての資質を育てる部門（経営学部）の創設
- 2 地場産業等の海外進出の中核を担う人材がグローバルに集まる魅力と特色を持った部門（経営学部）の創設
- 3 国際情勢の流動化による国内外の経営環境変化に的確に対応できる幅広い教養を修得できる部門（経営学部）の創設

以上の広範な人材育成を通じて、真に地域産業経済の振興発展に貢献できる経営学部を速やかに創設されたい。

平成28年9月6日 一般社団法人岐阜県経済同友会からの本学に対する人材育成に関する要望書（抜粋）

課題解決の一つとして、地方がそれぞれ明確なアイデンティティを発信して東京圏から人を呼び込むほか、たとえ地方の中小企業であっても独自の技術やアイデア、戦略性によって高い国際競争力を持つことが求められておりますが、その礎となるのは人材であります。

つきましては、本会は下記のとおり要望いたします。

記

- ・国内外の経営環境変化に的確に対応できる幅広い教養を習得できる部門（経営学部）の創設
- ・豊かな国際感覚を持ち、起業意欲が盛んな人材を育成する特色ある部門（経営学部）の創設。

平成28年9月16日 岐阜県高等学校長協会からの本学に対する人材育成に関する要望書（抜粋）

※7月6日の意見交換を踏まえて7月26日の同協会代表者会議で原案を検討し、9月16日の同協会総会の議を経て要望書が提出された。

本県の国立大学には経済・経営系の学部がなく、かねてからその設置を望んでおりました。

ついては、貴学において、岐阜県で活躍する人材の育成を一層強化していただきたく、下記のとおり要望いたします。

記

- 1 学部創設について
 - ・地域とりわけ岐阜県の民間企業でリーダーとして活躍できる人材育成を目指した学部の創設
 - ・企業の経営やマネジメントを実践かつ専門的に学べる学部の創設
- 2 人材の育成について
 - ・グローバル社会の発展と地域創生に貢献できる人材の育成
 - ・地域デザインの基盤的な理論と実践力を身に付け、それを地域創生・地域貢献に生かしていくことのできる人材の育成
 - ・より実践的な学びの中で、社会を読み解く力と幅広い教養を修得した人材の育成
 - ・ビジネスの現場で求められるセンスとスキルを身に付けた人材の育成
 - ・継続的事業体を企画し、運営することができる人材の育成

平成28年7月27日

岐阜大学長 殿

一般社団法人岐阜県経営者協会

会長 小野木 幸二



岐阜大学における人材育成に関する要望書

当協会は、戦後間もない1948年に発足し、日本経営者団体連盟（現・一般社団法人日本経済団体連合会）とともに企業経営の立場から、労使関係の安定、雇用の開発、人事労務管理諸制度の近代化をテーマとして活動してまいりました。

近年、企業経営を取り巻く環境は激変し、過去の経験がそのまま通用する時代は、確実に去ったといえます。当協会では、次代の潮流を的確につかみ、新しい時代の企業経営や人事労務問題の在り方を考えてまいります。

現在、人口減少が進む中、当県では県外流出が進み、その対策が課題となっています。こうした中、当協会は、働きやすい環境を実現している企業の先進事例を紹介するなどの取組みや、ますます厳しくなる採用環境への対応として、大学生のインターンシップをはじめ、貴学と連携しながら様々な事業を推進しているところです。

このような状況において、貴学では、地域の拠点として地域活性化の大きな役割を担っていることから、さらに、地域経済の活性化に向け、地域創生の実現に貢献できる人材の育成につきまして、下記のとおり要望いたします。

記

経営やマネジメント、語学に加え、地域経済が求める人材育成を主眼に置いた特色ある部門（経営学部）の創設

以上

平成28年9月1日

岐阜大学長 殿

岐阜県商工会議所連合会
会長 村瀬 幸 雄



岐阜大学における人材育成に関する要望書

平素、貴大学におかれましては高度な専門職業人の養成に主眼を置いた教育や教育の基盤としての質の高い研究活動の実践などによって、地域社会に多大なるご貢献を賜っておりますことに厚く感謝いたしております。

さて、本年6月に「まち・ひと・しごと基本方針2016」が閣議決定され、全国各地において地方創生に向けた取り組みが本格化いたしております。

地方創生の実現に向けて地域経済の振興・発展は必要不可欠であります。人口減少が進むなか、これを支える人材の確保に企業は大きな問題を抱えております。

つきましては、下記のとおり要望いたします。

記

- 1 「ファミリービジネス」の後継者育成等事業承継に繋がる経営者としての資質を育てる部門（経営学部）の創設
- 2 地場産業等の海外進出の中核を担う人材がグローバルに集まる魅力と特色を持った部門（経営学部）の創設
- 3 国際情勢の流動化による国内外の経営環境変化に的確に対応できる幅広い教養を修得できる部門（経営学部）の創設

以上の広範な人材育成を通じて、真に地域産業経済の振興発展に貢献できる経営学部を速やかに創設されたい。

以上

平成28年9月6日

岐阜大学長 殿

一般社団法人岐阜県経済同友会
筆頭代表幹事 中村 正



岐阜大学における人材育成に関する要望書

平素は岐阜県のかげがえのない知の拠点として、また高等教育の場として地域社会に多大な貢献を賜っておりますことに深く感謝を申し上げます。

さて、本会は県内経済人が自己研鑽を積み資質の向上に努めるとともに、地域経済の発展や教育文化の充実などに向けて提言活動を展開する経済団体であります。

現在わが国では、働き手のみならず企業もまた東京圏への転入が加速しており、地方経済の底上げをはじめとする地方創生の実現が大きな課題となっております。企業が東京圏に集中することなく全国にバランスよく立地して地方にも多くの人々が住み生産・消費活動が活発に行われることが、わが国の存立にとって極めて重要であります。

課題解決の一つとして、地方がそれぞれ明確なアイデンティティーを発信して東京圏から人を呼び込むほか、たとえ地方の中小企業であっても独自の技術やアイデア、戦略性によって高い国際競争力を持つことが求められておりますが、その礎となるのは人材であります。

つきましては、本会は下記のとおり要望いたします。

記

- ・国内外の経営環境変化に的確に対応できる幅広い教養を習得できる部門（経営学部）の創設
- ・豊かな国際感覚を持ち、起業意欲が盛んな人材を育成する特色ある部門（経営学部）の創設。

以上

高長協第50号
平成28年9月16日

岐阜大学長 様

岐阜県高等学校長協会

会長 浅井 正 美



岐阜大学における人材育成に関する要望書

本会は、岐阜県下の高等学校及び特別支援学校の校長・副校長により構成され、岐阜県教育の推進に寄与するため、教育に関する調査研究や教育情報の伝達・交換、教育に関する建議・答申などの活動を行っています。特に、貴学とは、毎年、本会代表者と大学幹部との懇談会を開催して情報を提供し合い意見交換を行って、高大連携を密にしているところです。

貴学には、岐阜県における唯一の国立大学として、岐阜県で活躍する人材の育成や地域経済の活性化など、地域創生の推進役として期待を寄せているところです。

また、本会では、高等学校教育の推進及び充実に努め、文系や理系の幅広い人材の育成に努めておりますが、本県の国立大学には経済・経営系の学部がなく、かねてからその設置を望んでおりました。

については、貴学において、岐阜県で活躍する人材の育成を一層強化していただきたく、下記のとおり要望いたします。

記

1 学部創設について

- 地域とりわけ岐阜県の民間企業でリーダーとして活躍できる人材育成を目指した学部の創設
- 企業の経営やマネジメントを実践かつ専門的に学べる学部の創設

2 人材の育成について

- グローバル社会の発展と地域創生に貢献できる人材の育成
- 地域デザインの基礎的な理論と実践力を身に付け、それを地域創生・地域貢献に生かしていくことのできる人材の育成
- より実践的な学びの中で、社会を読み解く力と幅広い教養を修得した人材の育成
- ビジネスの現場で求められるセンスとスキルを身に付けた人材の育成
- 継続的事業体を企画し、運営することができる人材の育成

添付資料2 高校の生徒を対象としたアンケートの概要及び結果

高校生アンケート調査

< 基本情報 >

対象者

- ・ 岐阜県内 9 校，愛知県内 3 校の高校に通う高校 2 年生
- ・ 依頼数は12校
- ・ 有効回答数は1,746 人（回収率100.0%）

実施時期

令和元年12月16日～12月20日

< 調査結果概要 >

経営学課程に「是非進学したい」と回答した生徒は86名（4.9%）で、「進学先の1つとして検討したい」と回答した生徒504名（28.9%）と合わせて、590名（33.8%）が、経営学課程への進学の意向を持っているとの結果が得られた。

さらに、経営学課程の特色の中で、「とても魅力を感じる」、「ある程度魅力を感じる」と回答した生徒数は有意に差がなく、すべて50%を超えており、特に多かった項目は、「体系的フィールドワーク」（64.8%）、「観光デザインプログラム」（64.5%）であった。このことから、経営学課程の教育内容に高い関心を持つ生徒が多いことが明らかとなった。

依頼にかかる文書

令和元年12月12日

〇〇県立●●高等学校長 殿

岐阜大学新学部設置準備室長
肥 後 睦 輝

岐阜大学経営/マネジメント教育部門に関するアンケートへのご協力について（依頼）

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申します。

平素は本学の教育研究に対し格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本学では数年来、地域の皆様のご要望に応えるべく、経営/マネジメント教育部門の設置について準備を進めてまいりました。現在、新しく制度化された学部等連係課程制度を活用した教育課程として、経営学課程（仮称）を令和3年4月に設置することについて検討中です。

設置審議会への申請書類では、学生の確保の見通し等を説明することが求められており、説明の根拠として、高校生へのアンケート結果等を添付することとされております。

つきましては、岐阜県及び愛知県の高校生等を対象としたニーズ調査を別添要項のとおり計画いたしましたので、年末のご多忙な時期で誠に恐縮ですが、協力いただきますよう、お願い申し上げます。

敬具

岐阜大学「経営学課程(仮)」に関するアンケート実施要項

【アンケートの対象】

- 高校生向けは、基本的には文系クラスの2年生を対象とさせていただきますが、理系であっても興味がある生徒さんにも参加していただけると幸いです。
- 高校教員向けは、基本的には進路指導ご担当の先生を対象とさせていただきますが、ご担当に関わらず、できるだけ多くの先生のご意見がいただけると幸いです。

【回答方法について】

本学の担当教員が日程調整のうえ貴校を訪問し、説明パンフレットに基づき説明のうえ、その場で生徒さんに記入いただいたアンケート用紙を回収します。所要時間は説明を含め30分程度を想定しています。

上記のご対応が難しい場合は、ご担当の先生にご説明のうえ、適宜の方法で生徒さんへ配布・回収いただき、着払いの郵便バックでご返送いただきます。

【返送期限】

返送でご対応いただく場合は、12月19日(木)までに本学に到着するよう返送願います。

【返送先】

〒501-1193
岐阜市柳戸1番1
岐阜大学新学部設置準備室
電話:058-293-3440

【お問合せ】

岐阜大学新学部設置準備室
事務主幹 石原 淳
電話:058-293-3440
メール:ging00002@jim.gifu-u.ac.jp

岐阜大学で 新しい**経営**を 学びたい。



岐阜大学が求める「新しい経営」とは？

地域が抱える課題は、ビジネスやまちづくり、観光など、経済活動や生活を支える様々な分野に存在しており、今後さらに深刻化すると予想されています。複雑かつ多様化する地域課題に対して、**多面的にモノゴトの本質をとらえ、新たな発想や実践によって問題を解決する能力をもった人材**が求められています。

そこで、**ビジネス・まちづくり・観光**を中心にして、**多面的思考やマネジメント思考**を身につけて、的確な経営判断ができ、経営にイノベーションをもたらし、活力ある豊かな社会の創造、すなわち地方創生の実現に貢献できる人材を育成します。

新しい学びの場「**経営学課程**（仮称）」を**岐阜大学**に設置予定

経営学課程（仮称）とは？

令和3年4月、岐阜大学に、複数の学部を横断して経営/マネジメントを軸とした**ビジネス・まちづくり・観光**について学ぶことのできる「**経営学課程**（仮称）」を、これまでの学部教育を超えた新しい制度[※]を活用し、設置する予定です。本課程では、学部を横断し、さらに実社会と強くつながることで、より実践的なカリキュラムを通常の学部と同じく4年間で学び、**学士（経営学）**の学位を取得します。

本気でよりよい社会をつくりたい学生を求めます！

※ 文部科学省が打ち出した学部横断的課程という制度を参照しています。
詳しくはQ&AのQ3を参照。

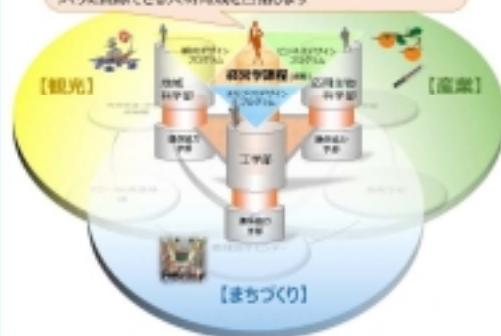
社会で魅力的に活躍するための力を引き出します！

デザイン思考論やプロジェクトマネジメント論など、デザイン経営の視点を組み込んだ教育がカリキュラムから、新しい価値を生み出し、時代をつくる力を得ますので、社会に出て即戦力として活躍することができます。

経営学課程（仮称）の5つの特色

- ① **地域課題に対応した教育**
主としてビジネス・まちづくり・観光へ貢献できる人材を育てます。
- ② **岐阜大学の学部を横断**
学部横断的なカリキュラムで幅広く、他学部の学生とともに学ぶ機会もあります。
- ③ **学びと実践の往還型教育**
講義と現場での実習を繰り返す、理論と実践を定着させる教育で実践的課題解決能力を身につけられます。
- ④ **学び場は実社会**
実習では企業や自治体の現場を対象とするので、実社会の各所で活躍する人々に触れながら実践的な経験を多く積むことができます。
- ⑤ **きめ細かな指導**
学生30名（予定）に対して教員14名（予定）というコンパクトな体制で、きめ細かい充実した指導を受けながら学びます。

岐阜大学の将来を担うビジネスをデザインする人材、まちづくりを行う人材、観光をデザインする人材、3種類の個別の能力に特化した人材ではなく、工学・法学・社会科学等を踏まえた経営/マネジメント教育により、デザイン経営的視点から課題を捉えた高力づくりに貢献できる人材育成を目指します



2023年度：12月4日、2023年度、観光、まちづくりの視点を軸とした学部横断的課程の創設が決定されました。

Q1 学部じゃなくて学部等連係課程？

これまで、入りたい学部を選んで入学し、その学部所属して4年間学ぶことが当たり前でした。ひとつの専門性は深まりますが、社会のしくみをつったり、これからのまちのライフスタイルを創造するためには、こうした学部で深まる知をまたいで、総合的に考えたり、学んだりする方法がいよいよ必要になってきています。そこで、新たな枠組みとして登場したのが、「学部等連係課程」です。岐阜大学の経営学課程（仮称）では、既存の学部を横断するようなかたちでプラットフォームを築き、社会のリアルな現象・問題に向き合う総合的な力を学びます。まさに、デザイン経営的視点からビジネス・まちづくり・観光の課題に取り組む、最先端の学び舎となります。

Q2 入試に必要なことは何ですか？

一般入試前期日程、推薦Ⅱとともに大学入試センター試験及び課題発見、論理的思考力、自分の考えを伝達する力を総合的に評価する小論文を課すとともに、前期日程では個別学力試験を、推薦Ⅱでは面接を実施します。推薦Ⅱの面接においては、高等学校までの学習過程で養成された学力の三要素（1. 知識・技能、2 思考力・判断力・表現力、3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）を評価します。

（入試区分や選抜方法等については予定であり、変更となる場合があります。）

Q3 卒業後はどういった就職先？

本課程では、授業の中で企業や自治体等と綿密に連携を図っており、社会が求める人材像を教育課程に組み込んでいます。そのため、卒業後は、地域に貢献する企業や自治体に就職することが期待されるだけでなく、広範囲に市場を有するグローバル企業に就職しつつも地域に貢献することも想定されます。例えば、起業やパラレルキャリアです。パラレルキャリアとは、主の仕事以外に仕事を持つことや、非営利活動に参加することによる多様な働き方です。本教育課程では、企業経営を学ぶことに加え、自ら業を創出する力も養い、支援する体制が整っています。

社会が君を待っている！

本課程を卒業すると、4年間で経験した豊富な実践と向上した能力によって、自分の求める未来を切り拓くことができます。地域の課題を実際に解決するためのビジネスを展開するために起業もできますし、いまある企業に入り、有能な右腕として活躍もできます。また国の機関や自治体に所属して、創造的にルールを変革し、これまでにないクリエイティブな取り組みを仕掛けることに挑戦することもできます。なにより、どこへ行ってもイノベティブに「コト」を展開できるあなたを、多くの企業が即戦力として欲しがることになります。そこで何をするか。君の力でこの社会をより豊かで楽しく暮らせる社会にしたいと思いませんか？

【お問合せ先】

岐阜大学（担当：石原）

E-mail：gjng00002@jim.gifu-u.ac.jp

TEL：058-293-3440

FAX：058-293-3441

〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1 岐阜大学



配布したアンケート本文

【高校生】岐阜大学 経営学課程（仮称）に関するアンケート

岐阜大学では、令和3年（2021年）4月に「経営学課程（仮称）」（従来の学部に対応）の設置を予定しています。このアンケートは、高校生みなさんから進路選択の考え方や学びたいことをお聞きし、岐阜大学の新しい教育組織をさらに充実させるための参考とさせていただきます。

このアンケートで得られた回答内容は、統計資料としてのみ利用し、個人が特定されることは一切ありません。アンケートへのご協力をお願いいたします。

I. 最初にあなたについてお聞きします。

- 性別 男性 女性
学年 1年生 2年生 3年生
在籍している高校 高校所在地（ ）県（ ）市・町・村
 国立 公立 私立
（ ）高校
所属クラス 文系クラス（文系コース） 理系クラス（理系コース）
 コース選択はない その他（ ）

II. あなたは、高校卒業後、現時点でどのような進路を希望していますか。（複数回答可）

- 国公立大学に進学 私立大学に進学 短期大学に進学
 専門学校・専修学校に進学 就職 その他（ ）

⇒「国公立大学に進学」「私立大学に進学」を選んだ方は、次の質問にお答え下さい。

【あなたは、進学先として、どの地域を希望しますか。】

- 県内 県外 海外 未定

【「県外」を選択された方】その理由を教えてください。

- 県内に進学したい分野がない 県外の大学に進学したいため
 その他（ ）

III. あなたは、どのような学問に興味がありますか。（複数回答可）

（現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想定してお答えください。）

- 教員養成・教育学・保育学関係 工学関係
 法学・政治学関係 理学関係
 文学関係 農・水産学関係（獣医含む）
 商学・経済学・経営学関係 医学・歯学・薬学関係
 語学関係 看護・保健関係
 国際関係学関係 生活科学関係（食物、栄養学等含む）
 社会学・社会福祉学関係 総合科学関係
 体育学関係 その他（ ）
 芸術学関係（美術、音楽等含む） まだ決めていない

IV. あなたが進学先の大学を選ぶ基準として重視されているものは何ですか。（複数回答可）

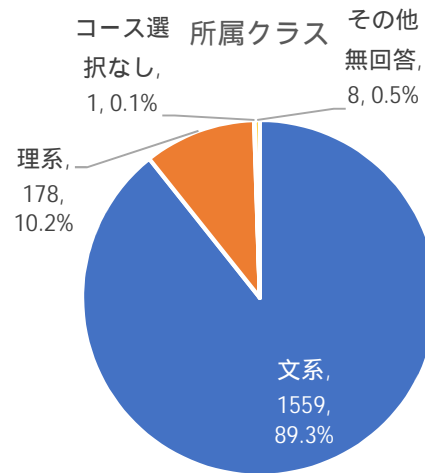
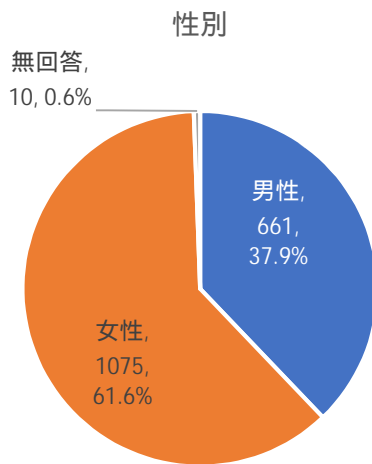
- 教育・研究内容 就職・進学状況 取得可能な資格/免許
 学費・奨学金制度 キャンパスの雰囲気 周辺環境
 交通アクセス 入試科目・制度 その他（ ）

【ウラ面もあります】→

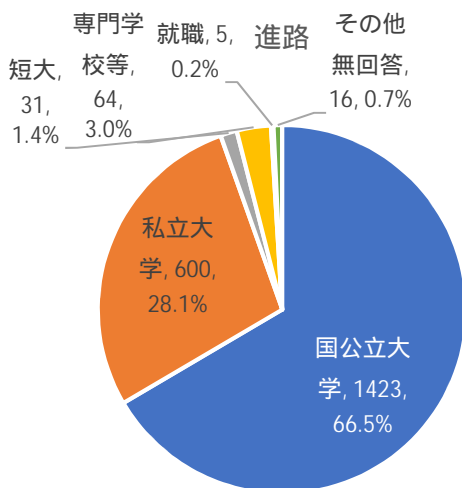
アンケート結果詳細

【高校2年生対象】岐阜大学 経営学課程（仮称）に関するアンケート（n=1746）

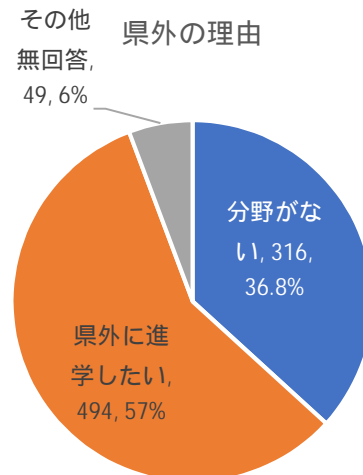
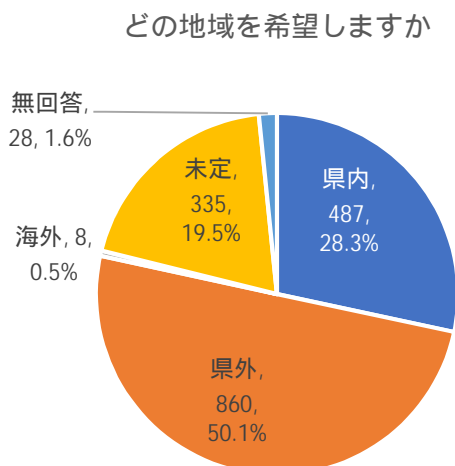
・最初にあなたについてお聞きします。



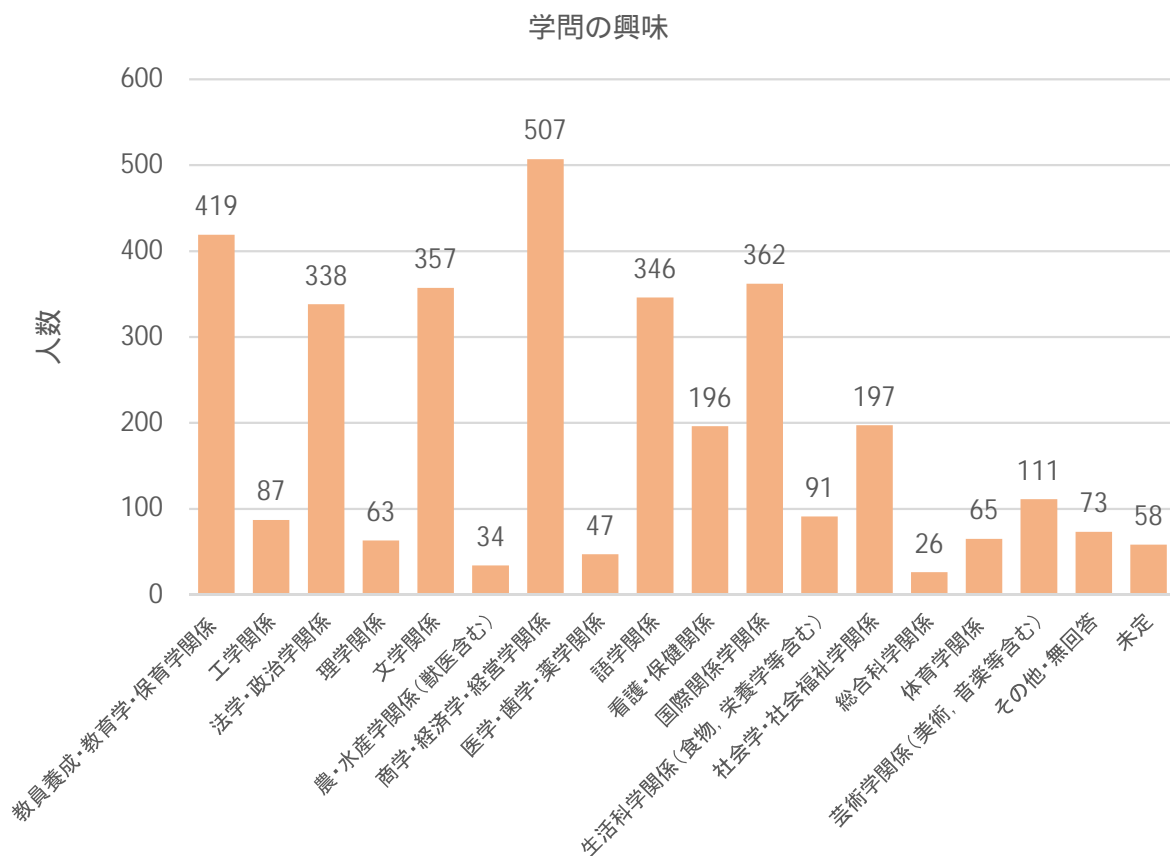
・あなたは、高校卒業後、現時点でどのような進路を希望していますか。（複数回答可）



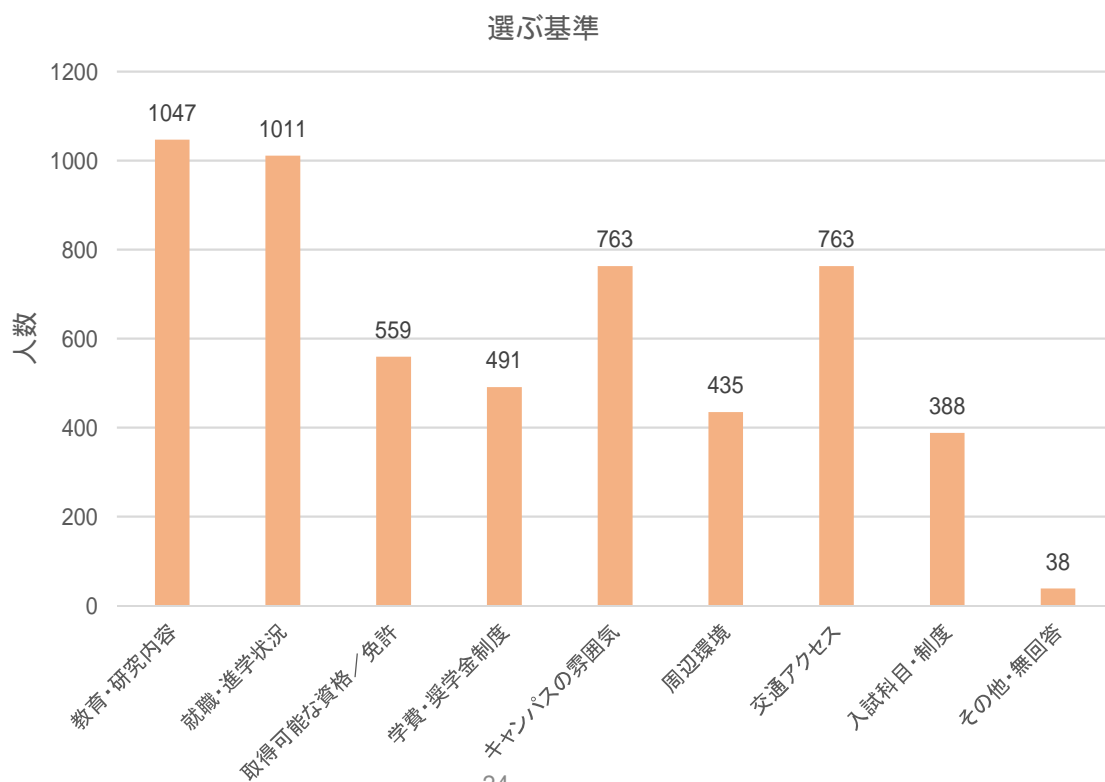
「国公立大学に進学」「私立大学に進学」を選んだ方は、次の質問にお答え下さい。
【進学先として、どの地域を希望しますか。】 【「県外」を選択の理由】



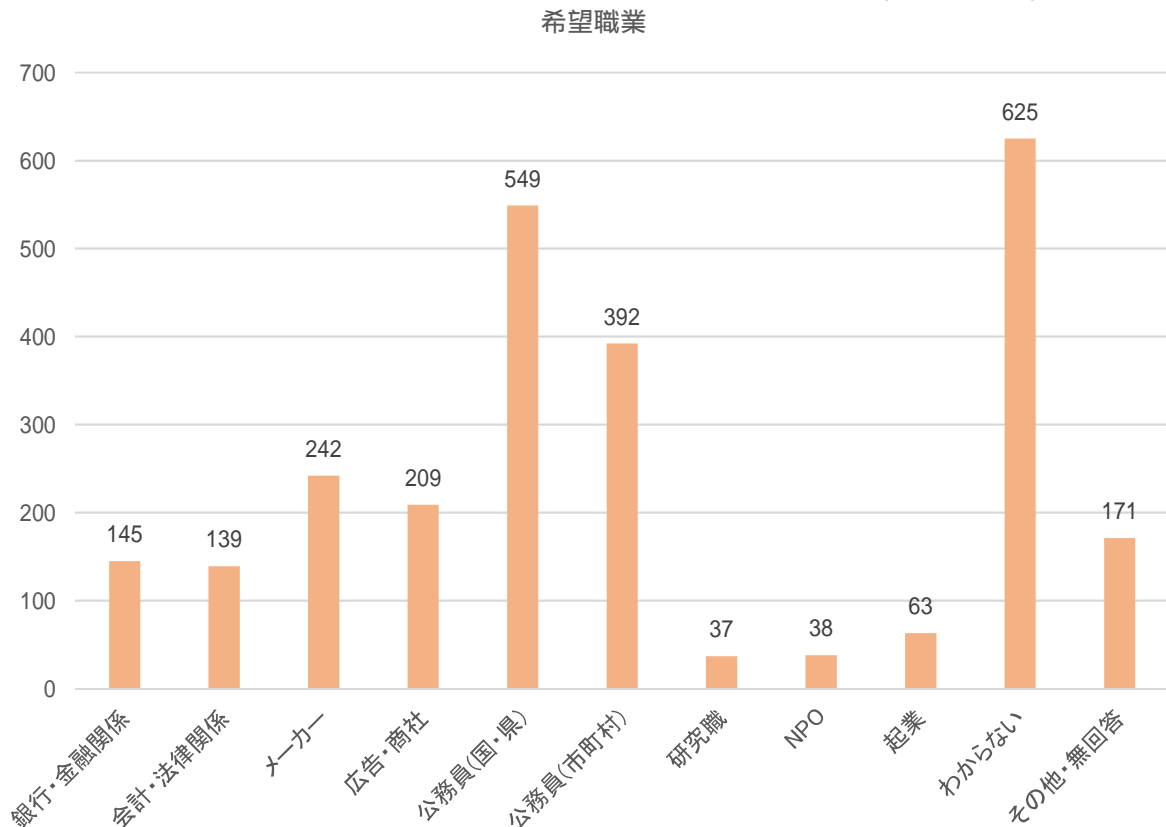
・あなたは、どのような学問に興味がありますか。（複数回答可）
 （現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想定してお答えください。）



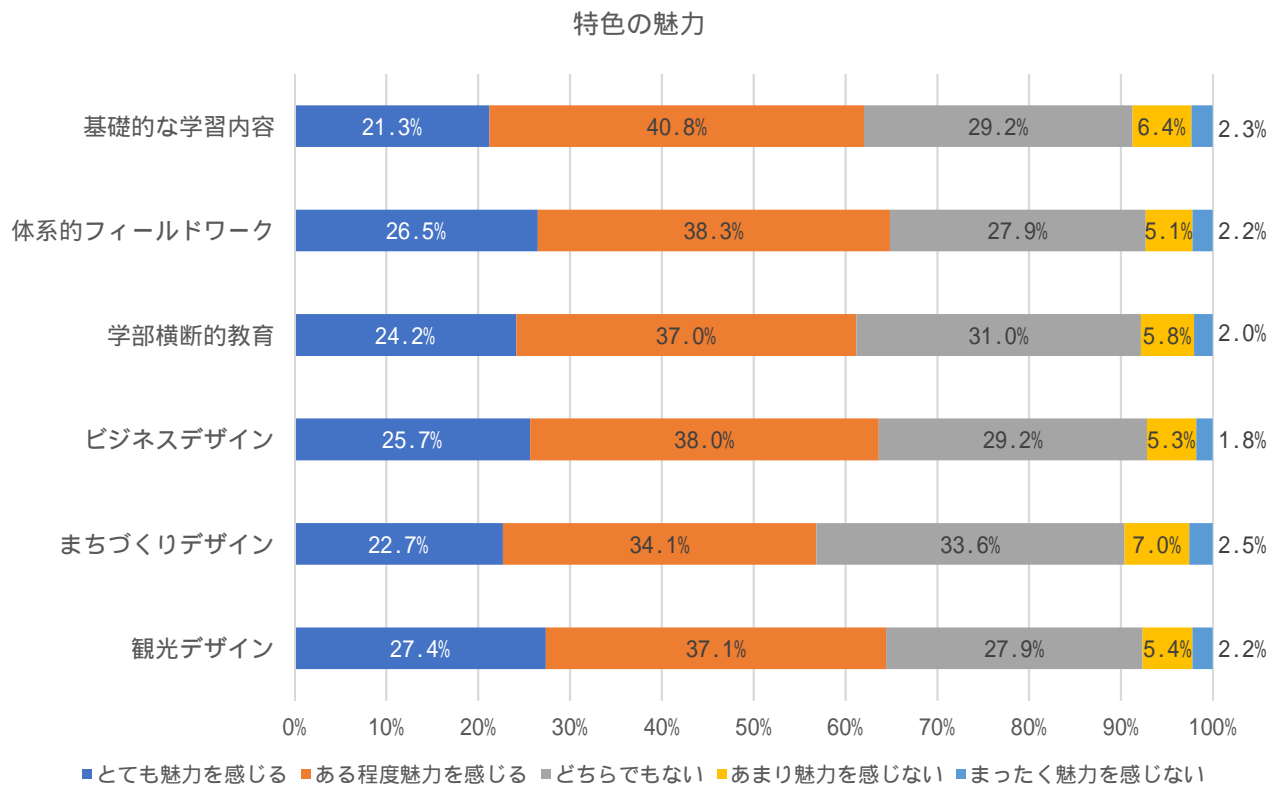
・あなたが進学先の大学を選ぶ基準として重視されているものは何ですか。（複数回答可）



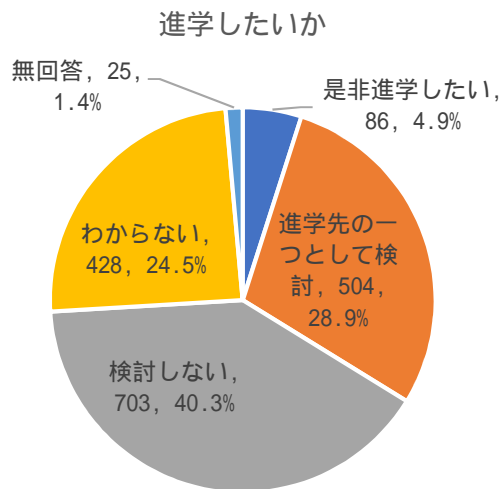
・あなたは、卒業後にどのような職業に就きたいと思いますか。(複数回答可)



・岐阜大学では、「経営学課程(仮称)」の設置を予定しています。本課程では、次のような特色があります。これらの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。それぞれ、あてはまる番号1つにつけてください。



・あなたは、岐阜大学「経営学課程（仮称）」が設置された場合、進学したいと思いますか？



・新しい教育組織「経営学課程（仮称）」について、ご意見がありましたら、お聞かせ下さい。

- > 30人は少ないと思います。
- > 人数少ない。もう少し人数が多かったらぜひ行きたいです。
- > 観光デザインプログラムに興味をもった
- > 募集人数を増やしてほしい。
- > 後期日程を作ってほしい
- > 人事関係についても学べますか？
- > 色々な事が学べそうで面白い
- > 工学（理系の学部）は嫌
- > 興味深い取り組みですね
- > 経営学課程の募集人数が少なすぎる。システムはともよい。
- > 学部と何が違うのかそうでないのかを明確にしたほうがいいのではないかと思います。
- > 理系の分野のことにふれるときについていけるかわからない
- > とても魅力的な制度だと思った
- > 勉強を頑張ろうと思いました
- > 入試科目を重視しているので早めに確定させれば進学先の一つとして検討したい。企業参加があれば大変うれし
いです。
- > 複数の学部の教育を受けられるのはとても良いと思います
- > 教員免許は取得できますか
- > 就職1年目にして率先して意見をだせるような生徒を養成するという教育方針に魅力を感じた
- > 募集人数の枠が広がれば良いなと思いました
- > 地域科学部で経済学や経営学を学ぶのと、何が大きな違いがよくわからない
- > もし本当に設置されるのならできるだけ早く情報提供して下さると助かります
- > 楽しみです
- > 頑張ってください
- > 頑張ってください
- > 頑張ってください
- > 別に設置しなくてもいいと思います
- > 経済学部がよかった
- > 薬学部がもしこれだったらいいと思った
- > キャンパスはどこですか
- > 他の大学との違いがよくわからない
- > 必ずつくってください
- > NPOなどの公共事業の経営といった分野を学べるところが少ないため、まちづくりデザインプログラムはよいと
思いました。
- > 経済の要素を加えれば入学希望者は増えるのでは
- > 地域科学部をなくさないでほしい。
- > 確か富山大学の経済学部も学部横断的な教育を掲げていますが、それと学部関係課程という形式にすることにど
んな違いがあるのか、どんな利益があるのか知りたい。そもそも既存の学部を横断する意味があるほど、現在岐
阜大学に多様な学部があるとも思えない。卒業後にパラレルキャリアを進める理由もよく分からない。
- > 地域科学部の規模を縮小しないならいいと思う。
- > すばらしい
- > 興味ナシ！
- > ないです。
- > なし
- > ありません
- > がんばってください。

添付資料3 高校の教員を対象としたアンケートの概要及び結果

高等学校教員アンケート調査

< 基本情報 >

対象者

- ・ 岐阜県内 9 校，愛知県内 3 校の高校の教員
- ・ 有効回答数は155人（回収率100.0%）

実施時期

令和元年12月16日～12月20日

< 調査結果概要 >

経営学課程への進学を薦めたいかという設問に対して，積極的に薦めたいが32名（全回答者数の20.6%），薦めたいが60名（38.7%）で，あわせると92名（59.4%）の教員が経営学課程への進学を生徒に進めたいという結果が得られた。

また，経営学課程の特色の中で，「とても魅力を感じる」，「ある程度魅力を感じる」と回答した教員数が多かった項目は，「体系的フィールドワーク」（88.4%），「まちづくりデザインプログラム」（87.7%）であった。

依頼にかかる文書

令和元年12月12日

〇〇県立●●高等学校長 殿

岐阜大学新学部設置準備室長
肥 後 睦 輝

岐阜大学経営/マネジメント教育部門に関するアンケートへのご協力について（依頼）

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申します。

平素は本学の教育研究に対し格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本学では数年来、地域の皆様のご要望に応えるべく、経営/マネジメント教育部門の設置について準備を進めてまいりました。現在、新しく制度化された学部等連係課程制度を活用した教育課程として、経営学課程（仮称）を令和3年4月に設置することについて検討中です。

設置審議会への申請書類では、学生の確保の見通し等を説明することが求められており、説明の根拠として、高校生へのアンケート結果等を添付することとされております。

つきましては、岐阜県及び愛知県の高校生等を対象としたニーズ調査を別添要項のとおり計画いたしましたので、年末のご多忙な時期で誠に恐縮ですが、協力いただきますよう、お願い申し上げます。

敬具

岐阜大学「経営学課程(仮)」に関するアンケート実施要項

【アンケートの対象】

- 高校生向けは、基本的には文系クラスの2年生を対象とさせていただきますが、理系であっても興味がある生徒さんにも参加していただけると幸いです。
- 高校教員向けは、基本的には進路指導ご担当の先生を対象とさせていただきますが、ご担当に関わらず、できるだけ多くの先生のご意見がいただけると幸いです。

【回答方法について】

本学の担当教員が日程調整のうえ貴校を訪問し、説明パンフレットに基づき説明のうえ、その場で生徒さんに記入いただいたアンケート用紙を回収します。所要時間は説明を含め30分程度を想定しています。

上記のご対応が難しい場合は、ご担当の先生にご説明のうえ、適宜の方法で生徒さんへ配布・回収いただき、着払いの郵便バックでご返送いただきます。

【返送期限】

返送でご対応いただく場合は、12月19日(木)までに本学に到着するよう返送願います。

【返送先】

〒501-1193
岐阜市柳戸1番1
岐阜大学新学部設置準備室
電話:058-293-3440

【お問合せ】

岐阜大学新学部設置準備室
事務主幹 石原 淳
電話:058-293-3440
メール:ging00002@jim.gifu-u.ac.jp

岐阜大学で 新しい**経営**を 学びたい。



岐阜大学が求める「新しい経営」とは？

地域が抱える課題は、ビジネスやまちづくり、観光など、経済活動や生活を支える様々な分野に存在しており、今後さらに深刻化すると予想されています。複雑かつ多様化する地域課題に対して、**多面的にモノゴトの本質をとらえ、新たな発想や実践によって問題を解決する能力をもった人材**が求められています。

そこで、**ビジネス・まちづくり・観光**を中心にして、**多面的思考やマネジメント思考**を身につけて、的確な経営判断ができ、経営にイノベーションをもたらし、活力ある豊かな社会の創造、すなわち地方創生の実現に貢献できる人材を育成します。

新しい学びの場「**経営学課程**（仮称）」を**岐阜大学**に設置予定

経営学課程（仮称）とは？

令和3年4月、岐阜大学に、複数の学部を横断して経営/マネジメントを軸とした**ビジネス・まちづくり・観光**について学ぶことのできる「**経営学課程**（仮称）」を、これまでの学部教育を超えた新しい制度[※]を活用し、設置する予定です。本課程では、学部を横断し、さらに実社会と強くつながることで、より実践的なカリキュラムを通常の学部と同じく4年間で学び、**学士（経営学）**の学位を取得します。

本気でよりよい社会をつくりたい学生を求めます！

※ 文部科学省が打ち出した学部横断的課程という制度を利用しています。詳しくはQ&AのQ3を参照。

社会で魅力的に活躍するための力を引き出します！

デザイン思考論やプロジェクトマネジメント論など、デザイン経営の視点を組み込んだ教育がカリキュラムから、新しい価値を生み出し、時代をつくる力を得ますので、社会に出て即戦力として活躍することができます。

経営学課程（仮称）の5つの特色

- ① **地域課題に対応した教育**
主としてビジネス・まちづくり・観光へ貢献できる人材を育てます。
- ② **岐阜大学の学部を横断**
学部横断的なカリキュラムで幅広く、他学部の学生とともに学ぶ機会もあります。
- ③ **学びと実践の往還型教育**
講義と現場での実習を繰り返す、理論と実践を定着させる教育で実践的課題解決能力を身につけられます。
- ④ **学び場は実社会**
実習では企業や自治体の現場を対象とするので、実社会の各所で活躍する人々に抱れながら実践的な経験を多く積むことができます。
- ⑤ **きめ細かな指導**
学生30名（予定）に対して教員14名（予定）というコンパクトな体制で、きめ細かい充実した指導を受けながら学びます。

岐阜県の将来を担うビジネスをデザインする人材、まちづくりを行う人材、観光をデザインする人材、3種類の個別の能力に特化した人材ではなく、工学・法学・社会科学等を踏まえた経営/マネジメント教育により、デザイン経営的視点から資源を活かした高力づくりに貢献できる人材育成を目指します



3Dモデル：上から左、まちづくり、観光、右から右から工学・法学・社会科学等を踏まえた経営/マネジメント教育による高力づくりに貢献できる人材育成

リアルな実践教育：経営学課程（仮称）の主なカリキュラム※

	多面的思考力	データ分析・論理的思考力	コミュニケーション力	デザイン思考による課題発見・解決力	専門知識とマネジメント力	起業力と地域貢献力
4 年 次	総合力の修得と学問探究の促進 卒業研究 実習的実践力の修得 ●専門課題Ⅰ（3年秋期）-Ⅱ（3年秋期）-Ⅲ（4年秋期）-Ⅳ（4年秋期）					専：政治経済科目 修：社会学部課程科目 修：地域社会学（COC+） 以：社会実習科目 専：北北東大大学院課程科目 特色●：実務・演習 起業力により地方創生に貢献することができる
3 年 次	専門的知識の修得を促すとともに多面的思考力を高めることで課題解決に活用できる	データ収集・分析方法を応用して論理的結論を導き出すことができる	コミュニケーション力を高めることで、多様な人材層でのコーディネート力を発揮できる	デザイン思考により企業、自治体の課題を発見・解決することができる	企業や自治体の課題に関する専門知識を応用し、企業や自治体の経営の向上に貢献できる	専攻「経営学」第Ⅰ・Ⅱ ●ビジネスデザイン実習 ●観光デザイン実習 ●まちづくりの発展
2 年 次	多面的思考力に必要な基礎的知識、専門的知識を修得する	他大学、他学部と連携した授業科目、専門科目を履修し、データ収集・分析方法を応用して修得する	異文化理解のためのコミュニケーション力も活用することができる	企業、自治体の課題に関する専門的知識を修得する	企業や自治体の課題に関する専門的知識を修得する	起業力に関する基礎を応用して地方創生に貢献する態度を修得する
1 年 次	幅広い分野の経営科目を履修し、多面的思考力に必要な基礎的知識を修得する	データ収集・分析方法の基礎を修得する	語学・コミュニケーションの基礎を修得する	企業、自治体の課題に関する基礎的知識を修得する	企業や自治体の課題に関する基礎的知識を修得する	起業力に関する基礎的知識、考え方を修得する

※ 科目科目の一部です。内容は予定であり、今後、変更になる場合がございます。

本課程では、企業や自治体などが直面しているリアルで複合的な課題の解決に向け、数年間継続して実習に取り組む科目を必ず履修することとしています。この実習と、関連する講義を交互に繰り返す行うことで、実践とそれに必要な知識を段階に応じて学ぶことができる「往還型」授業を行います。

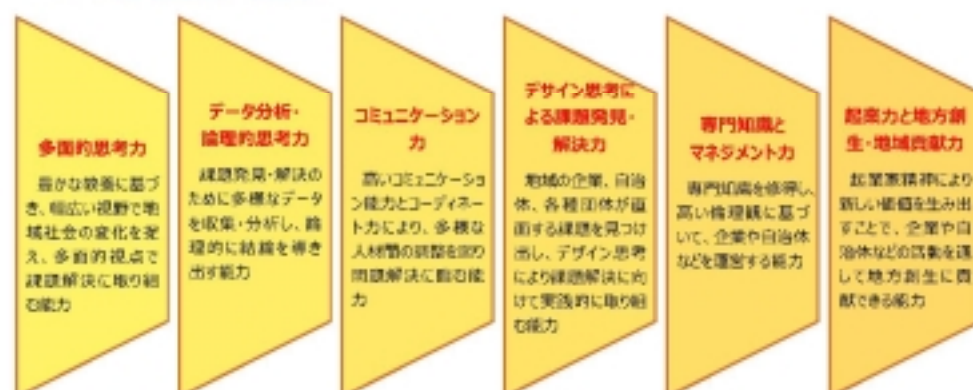
また、リアルな課題解決へ向けて、自ら情報収集と試行錯誤をしながら積み上げる学習（課題解決型学習：PBL）を行い、座学が中心だったこれまでの大学教育に対して、高い実践力を得ることができます。

卒業したら、ここまで成長します！

本課程では、新たな発想や実践によって問題を解決して時代を拓く能力を持つ人を育てます。

- ✓ 経営に関する問題解決ができる
- ✓ 地域における最適な経営戦略がわかる
- ✓ 企業・自治体等でリーダーとして活躍する

<4年間で身につく能力>



Q1 学部じゃなくて学部等連係課程？

これまで、入りたい学部を選んで入学し、その学部所属して4年間学ぶことが当たり前でした。ひとつの専門性は深まりますが、社会のしくみをつったり、これからのまちのライフスタイルを創造するためには、こうした学部で深まる知をまたいで、総合的に考えたり、学んだりする方法がいよいよ必要になってきています。そこで、新たな枠組みとして登場したのが、「学部等連係課程」です。岐阜大学の経営学課程（仮称）では、既存の学部を横断するようなかたちでプラットフォームを築き、社会のリアルな現象・問題に向き合う総合的な力を学びます。まさに、デザイン経営的視点からビジネス・まちづくり・観光の課題に取り組む、最先端の学び舎となります。

Q2 入試に必要なことは何ですか？

一般入試前期日程、推薦Ⅱとともに大学入試センター試験及び課題発見、論理的思考力、自分の考えを伝達する力を総合的に評価する小論文を課すとともに、前期日程では個別学力試験を、推薦Ⅱでは面接を実施します。推薦Ⅱの面接においては、高等学校までの学習過程で養成された学力の三要素（1. 知識・技能、2 思考力・判断力・表現力、3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）を評価します。

（入試区分や選抜方法等については予定であり、変更となる場合があります。）

Q3 卒業後はどういった就職先？

本課程では、授業の中で企業や自治体等と綿密に連携を図っており、社会が求める人材像を教育課程に組み込んでいます。そのため、卒業後は、地域に貢献する企業や自治体に就職することが期待されるだけでなく、広範囲に市場を有するグローバル企業に就職しつつも地域に貢献することも想定されます。例えば、起業やパラレルキャリアです。パラレルキャリアとは、主の仕事以外に仕事を持つことや、非営利活動に参加することによる多様な働き方です。本教育課程では、企業経営を学ぶことに加え、自ら業を創出する力も養い、支援する体制が整っています。

社会が君を待っている！

本課程を卒業すると、4年間で経験した豊富な実践と向上した能力によって、自分の求める未来を切り拓くことができます。地域の課題を実際に解決するためのビジネスを展開するために起業もできますし、いまある企業に入り、有能な右腕として活躍もできます。また国の機関や自治体に所属して、創造的にルールを変革し、これまでにないクリエイティブな取り組みを仕掛けることに挑戦することもできます。なにより、どこへ行ってもイノベティブに「コト」を展開できるあなたを、多くの企業が即戦力として欲しがることになります。そこで何をするか。君の力でこの社会をより豊かで楽しく暮らせる社会にしたいと思いませんか？

【お問合せ先】

岐阜大学（担当：石原）

E-mail：gjng00002@jim.gifu-u.ac.jp

TEL：058-293-3440

FAX：058-293-3441

〒501-1193 岐阜県岐阜市朝戸1-1 岐阜大学



IV. 岐阜大学「経営学課程（仮称）」が設置された場合、生徒に進学を薦めたいと思われませんか。また、それを選んだ理由を記載下さい。

- 積極的に薦めたい
- 薦めたい
- どちらかといえば薦めたい
- あまり薦めない
- 薦めない

V. 岐阜大学「経営学課程（仮称）」に興味を持った学生に対して、その他の選択肢としてどのような進学先を薦めますか。もしくは、同様なケース（商学・経済学・経営学関係）に対して進めてきた進学実績があれば、ご記載下さい。

() 大学 () 学部 () 学科/コース/プログラム
() 大学 () 学部 () 学科/コース/プログラム
() 大学 () 学部 () 学科/コース/プログラム

VI. 新教育組織「経営学課程（仮称）」について、ご意見がありましたら、お聞かせ下さい。

VII. 記入者についてご記載下さい。

在籍している高校 高校所在地 () 県 () 市・町・村

国立 公立 私立

() 高校

勤続年数 10年以内 11年から20年 20年以上

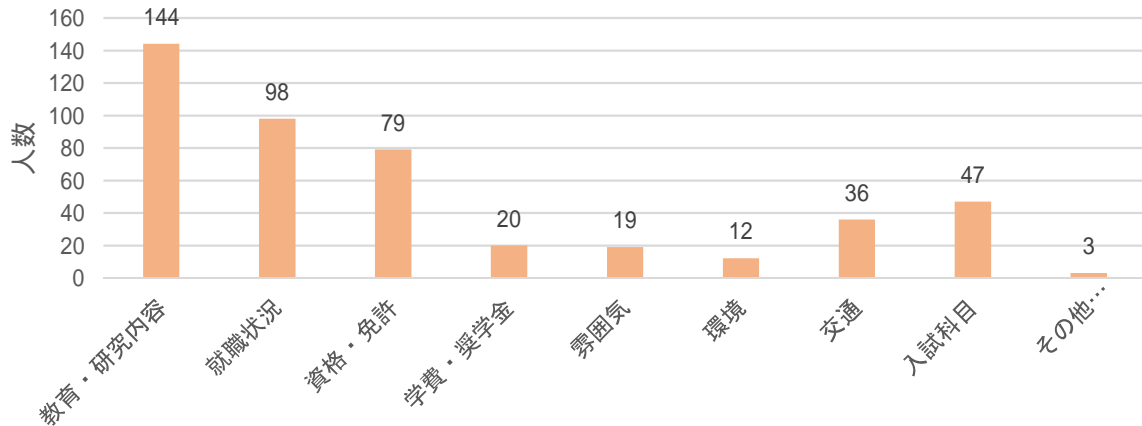
担当科目 ()

ご協力ありがとうございました。

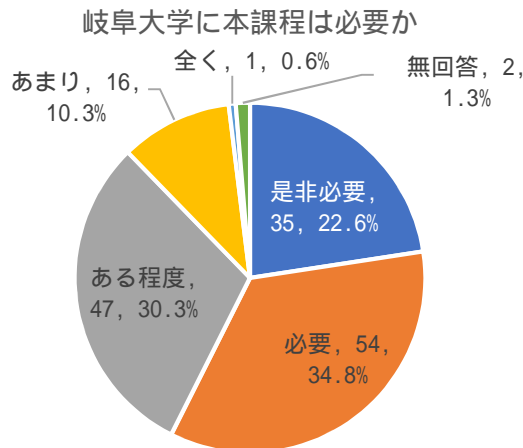
アンケート結果詳細

【高校教員】岐阜大学 経営学課程（仮称）に関するアンケート(n=155)

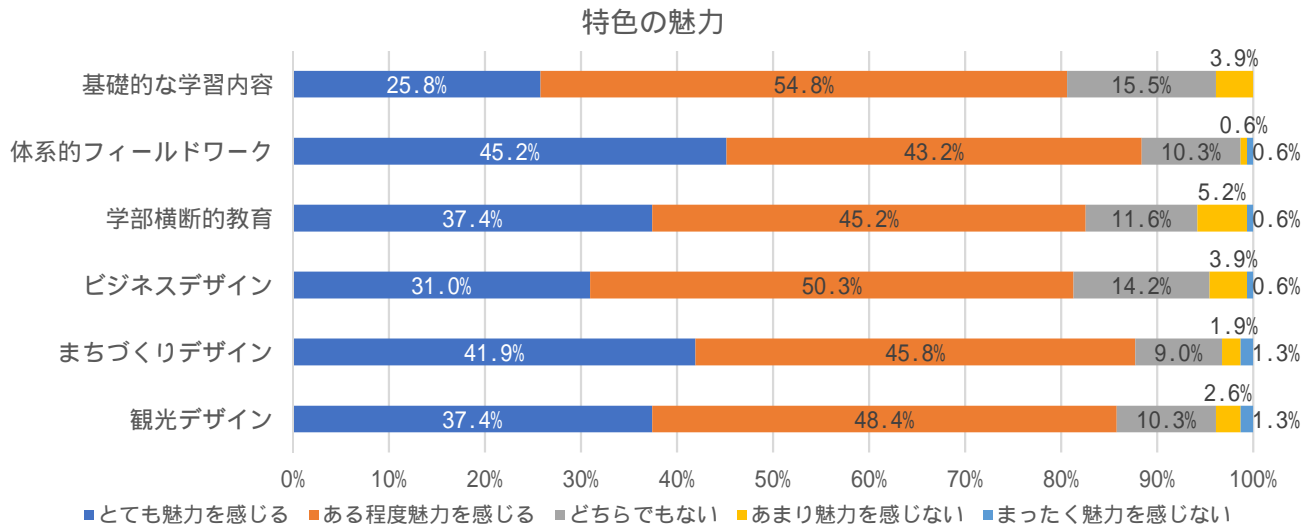
あなたの生徒に、進学先の大学を勧める基準として重視されているものは何ですか。（複数回答可）



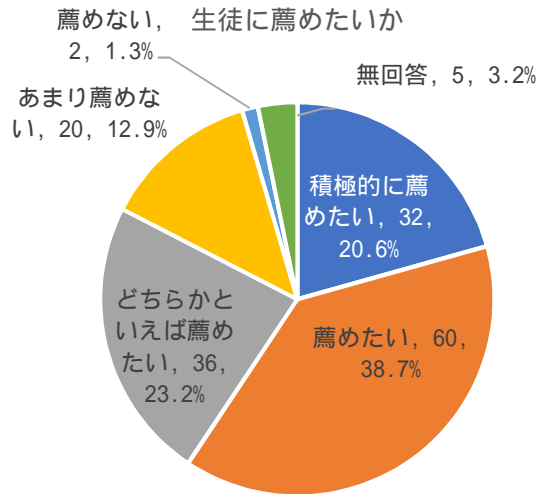
岐阜大学は、企業や自治体で活躍する人材育成を目的とした、「経営学課程（仮称）」の設置を予定しています。岐阜大学に本課程は必要だと思われませんか。



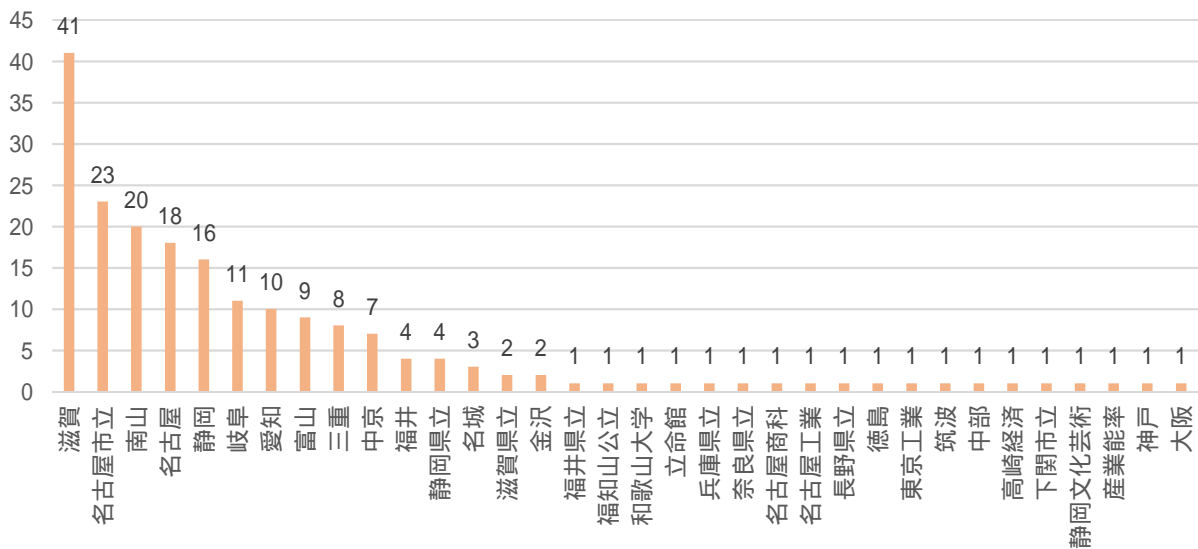
「経営学課程（仮称）」では、次のような特色ある教育を行う予定です。これらの特色について、どの程度魅力を感じますか。それぞれ、あてはまる番号1つにをつけてください。



・岐阜大学「経営学課程（仮称）」が設置された場合，生徒に進学を薦めたいと思われませんか。また，それを選んだ理由 を記載下さい。 別添1

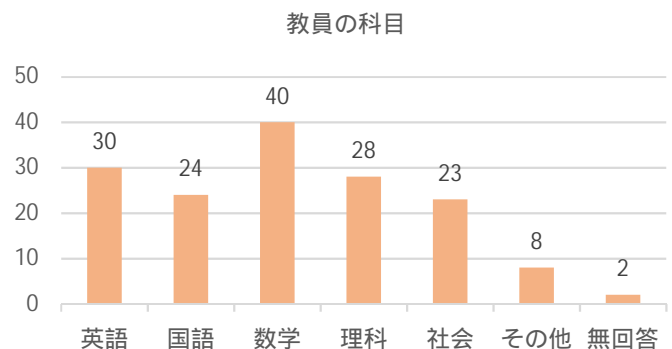
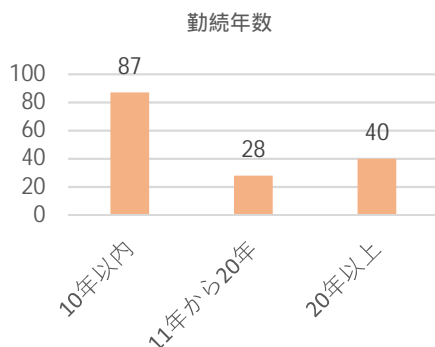


・岐阜大学「経営学課程（仮称）」に興味を持った学生に対して，その他の選択肢としてどのような進学先を薦めますか。もしくは，同様なケース（商学・経済学・経営学関係）に対して進めてきた進学実績があれば，ご記載下さい。（1人3大学まで複数回答可）



・新教育組織「経営学課程（仮称）」について，ご意見がありましたら，お聞かせ下さい。 別添2

・記入者についてご記載下さい。



・岐阜大学「経営学課程（仮称）」が設置された場合，生徒に進学を薦めたいと思われませんか。また，それを選んだ理由を記載下さい。

<積極的に薦めたい>

- 岐阜に経営を専門に学べるところがなかったため
- 岐阜の活性化のため
- 岐阜県内にない公立文系の学部であり、魅力的である。
- 岐阜大学（地元）に進学したいと思っている生徒は多いが、現状だと、学部が限られるから。
- 教育学部以外で文系の生徒の進学先として有力だと思う。（岐阜大学は理系中心の大学と思われがちなので。）
- 興味・関心があり、将来の職業選択時に希望に近いものがある生徒には地元でもあるため、薦めていきたい。
- 県内で経済が学べる。
- 今まで、学部がなく他県の大学ばかり薦めてきたため。
- 地域のために学んで還元してほしい
- 地元には薦めたい大学がない
- 文系の上位生徒の進学先が限られるため
- 「地域課題に対応した教育」がなされるから。「学生30名に教員14名というきめ細かな指導」がなされるから。
- もうひとつ岐阜県のグランドデザインが描けない現状を打破するために産業の連携で学問的研究が裏打ちされた環境開拓が必要となる
- 学生30名に対して教員が14名と手厚く指導が受けられ、かつ観光について詳しく学ぶことができそうのため。
- 地域科学部にない学びができる。
- 地元で活躍する生徒を育成したいため
- 地元の大学に進学して地元就職してほしいから。
- 保護者・生徒ともに関心のある学部である。中部エリアにできれば、進学先の幅が広がる。岐阜に愛着をもってくれる人材が増える。
- これまで、「経営」を学ぶには、他県に進学する生徒が多い中で、地元国立大学で学べるならば、生徒に薦めやすい。また、学生30名に対し、教員14名は大きな魅力だと思います。
- 以前より、経済・経営系の希望者が他県の大学に行かざるを得ない状況となっていて困っている。
- 岐阜県には、国公立の経営学系の学部がないので、生徒に進学を薦めたい。
- 岐阜大学を目指す生徒も多いので、今まで無かった経営学課程は、とても魅力に感じます。
- 岐阜大学志望の生徒で、経済・経営系の学部がなく、他大学を考えたことがあるから。
- 経営学を学べる国公立が通学圏内にないから。
- 経営学を専門とした家庭のある国公立大学が近くにないため。
- 現状、県内に文系の生徒をすすめる学部が少ない。経営学が設置されるとニーズがあるのではないかと。
- 学部をきっちり決められない生徒も多いから。

<薦めたい>

- 「地元」を重視する生徒の選択肢が広がるため
- 岐大に文系の生徒にも進路先が増えてよいから。
- 岐阜県で働き、公私の面で地方再生を支える人材は本県では必要であると思われるから。
- 岐阜大学だから。

- 近くに新しく学べる場ができれば、大いに薦めたい。
- 近くの大学に通いたい(実家から)という生徒が多いため。卒業後に、地元で活躍したいという生徒に薦めたい。
- 自宅から通える大学と条件にしている生徒が多数いるため。
- 生徒にとって最も身近な大学だから
- 生徒の選択肢が増えるから
- 生徒の地元志向は年々強くなっているように感じます。
- 地元で資する生徒(学生)を育ててほしいから。
- 地元の大学として条件に当てはまる生徒がいた場合、薦めたい。
- 特に地元への貢献を考えている生徒には、あっていると思うから。
- 文系でも地元の大学への進学希望者が多いため
- 文系で地元の大学への進学希望者が多いため
- すでにある他学部でも実践的な学びをしているため期待している。
- 横断的なカリキュラムと実社会での経験を積めるという点に魅力を感じます。
- 学部横断的教育や、実社会とつながれる環境が魅力的
- 就職する上で即戦力となる力を育成することができると感じるため、多方面に適用する知識・技術を習得できそうであると感じるため。
- 将来の職業につながりそうである一方、新設で卒業生がおらず不安もあるため。
- 地域に密着したユニークな経営学が学べそうである。また、観光学を学びたいという生徒も多く、そういう生徒にも示唆できる進路となりそうだから。
- 地域科学部より専門的なことが学べそうだから。
- 訪日観光客の人数が増える中、その外国人観光客をリピーターとして取り込んだり、インターネット上での評価につなげたりするためには、大学地から実地での経験を通して学んだ人材が必要だと思う。地方の活性化につなげるためにも薦めたい。
- 経営には企業、地域、自治体など、様々なレベルの経営があるため、また分野も多岐にわたるため、内容によっては薦めたい。
- 公立の経済系が岐阜にないから。アクセスの面で便利。地域科学の時の内容を引き継いでいる。
- 今まで岐阜県の国公立大学に無かった分野で期待をするが、将来的にどうなっていくかの不安も少しあるため。
- 地域活性化の一助になること、経営学を学びたい生徒が増加傾向にあり、岐阜県内で薦められる大学がないため。内容に特化した学部であり、生徒に進学を薦めやすい。
- 地元の国公立で経営を専門的に学ぶことができるから
- 地元の国公立大で経営/経済、法律を学ぶ場がないということは、生徒にとってかなりマイナスだと感じてきました。しかし、学部等連係課程が有効に働くのか、地域科学部とのすみ分けなど、高校が生徒に説明するのに、漠然とした部分が大きいです。
- 通えるところで国公立の経営学が少ないから。
- 通える範囲であり、近くには国公立であまりない経営学部であるから
- 東海地区の国公立で経営学について学べる大学が少ないため。岐阜県にある国公立大学として学校指導の中心となるため。
- 文系学部のため、薦めたい。
- 生徒の実状に即して話を聞き、薦めたい。
- 地域科学部のような環境・生態系(岐阜の自然)への意識が一步後退したのかと感じる。
- 文系で地域科学部に関心を寄せる生徒なら、薦めなくとも自ら興味を持ちそうなジャンルだが、理系で工学部志望の生徒に向けては、ある意味必要だが、自ら興味を向けることがなさそうなジャンルだけに新しい選択肢となり得る期待が持てるから。
- まだ1年目であれば、なんとも言えません。
- まだ具体化されていないためどの程度の学課程なのか分からないため。

<どちらかといえば薦めたい>

- 愛知県内の大学が多くあるため微妙であるが、岐阜県の特徴も盛り込んだカリキュラムがあれば薦めたい。
- 岐阜県内に経済・経営を学べる大学が少ないので、岐阜の高校生が通いやすいのではないかな。
- 岐阜大に進むことにより、将来的に岐阜県に残ってくれる可能性が上がるため。
- 国公立なので
- 自宅から通学できる距離にあり、地元で就職したい生徒には良いと思う。
- 地域の活性化に貢献したいという意思があれば。
- 地域社会のリーダーとして活躍したい生徒がいれば薦めたいと思います。
- 地元の国立大学として
- 地元の大学で学べる内容が広がる
- 地元の大学で経営学を学べるため。
- 地元を希望する生徒であれば薦める。一方で、課程の特色が現段階では不明な部分もあると考える。
- 本校の生徒は地元志向が強いから
- 学部・学科に対して課程との違いが不明であるので、生徒が不安に感じなければ良い（特に就職などについて）
- 経営学課程の魅力をもう少し分かりやすくアピールして頂きたいです。従来との違いなど。
- 経済・経営を志望し、自宅からの通学を希望する生徒にとって、良い目標となりそうだから。
- 県内に進学する生徒であれば、経営を学べる大学が少ないから。県外に出られる生徒の場合は、他県を薦めます。（新設なので）
- 東海地区に「経営」の名のある大学はないから、進路希望に応じて進めたい。ただし、カリキュラム等が複雑で、理解して伝えることが難しそうである。
- 興味のある生徒がいれば薦めたい。
- 生徒が希望するのであれば、積極的に進める
- まだ実績がないので。
- 近くに経営学を学べる国公立大学が少ないため魅力的であるが、就業実績を見てみないと何とも勧められないと思う。
- 通学を考える場合、選択肢の一つと考えられるが、実績のない課程を生徒に薦めるのは不安である。
- 5つの特色にはある程度魅力を感じるが、実際のところまだよく分からない。
- なぜ今、この地域にという思いが強いため。企業就職を考える生徒にとって、岐阜という地域で学ぶことがプラスになるのだろうか。すみません。後押しにならず。
- 経営学と経済学は大いに関連すると思います。ミクロやマクロの視点から経済学を学んだ上でのマネジメントではないでしょうか。
- 設置の趣旨は賛同できます。実際の教育内容のイメージが今ひとつわかりません。
- 愛知県内の大学が多くあるため微妙であるが、岐阜県の特徴も盛り込んだカリキュラムがあれば薦めたい。
- 岐阜県内に経済・経営を学べる大学が少ないので、岐阜の高校生が通いやすいのではないかな。
- 岐阜大に進むことにより、将来的に岐阜県に残ってくれる可能性が上がるため。

<あまり薦めない>

- 既存の課程の方が整っているから。
- 他大にある。
- 愛知県内の私学には経営学を学べる大学が複数あり、岐阜大学経営学課程ならではの魅力をあまり感じない。フィールドワークや学部横断的内容は岐阜大学地域科学部の特徴であると考えから。
- 従来地域科学部が取り組まれていたこととの差別化が不明。すでに地元でも認知されている地域科学部を推すと思います。（地域科学部からスタッフが抜れるということでしょうか？）
- 地域科学部との違いがはっきりしていない。課程という考え方になじみがない。

- まだ判然としないから .
- (今の段階で)大学の学生がどのように学んでいくのかがはっきりとわからず薦めづらい .
- 具体像が見えない。一般的な経営学部と地域の視点が重なる。今までの名称で十分できる。
- 課程のイメージが浮かばないから .
- 基本となる学部・専攻が不明なので、現時点では薦めようがない。
- 内容がよくわかっていないから .
- 内容が良くわからない
- ある程度の結果や実績が出てから判断したい .
- 状況を見て、慎重に薦めたい。
- 薦める , 薦めない , の前に , 生徒が行きたいか行きたくないかの問題のため。

<薦めない>

- なぜ「経営学」なのか , という疑問がある。地域科学部をはじめ , 他の学部が存続するなか , 学部横断という形で「課程」を設置することに意味があるのだろうか。学際的な試みであれば , 他の大学がすでに取り組んでいるような「学群 , 学域 , 学類」等の組織編成を行えば良いのではないか。
- 学部ではないので不安が残るため。経済・経営と広い範囲で見ると , 静岡大学 , 滋賀大 , 三重大に同系統での実績ある学部・学科がすでにあるため。

<無回答>

- 岐阜県の各地域でのフィールドワーク等を通して , 地域課題について多面的・多角的に取り組んでいける人材を育て , 岐阜県全体を盛り上げて頂きたい
- まだはっきりしていないため、どちらとも言えません。
- 生徒にあったものであれば良いが , そうでなければ他を薦める。
- 生徒によります
- 個人の希望次第です

・新教育組織「経営学課程（仮称）」について、ご意見

<グループ：名称・制度について>

- 「経営学部」にした方が、受験生は安心するかもしれません。
- もう少しわかりやすい形（学部にするとか）にした方がよい。
- **特色がわかる名称がいい。**
- 学部と課程の名称の違い、組織内容がはっきりとわかりません。
- 学部には所属しない学科（課程）の立ち位置がよくわかりません。地域科学部との明確な違いについてもう少し詳しく知りたいです。
- 経営・経済学部といったような名称の方が、何を学ぶ学部かわかりやすく、生徒も他県から集まると思う。あまり長い学部名では、生徒の検索に引っかからないと思う。
- 経営学課程と既存の地域科学部との位置付けが不透明。両者の特色についても同様。
- 経営学学士とはいうが、所属学部とは違う学士をとることになるのか。学部横断とはいうが、現実的に、地域科学部と教育学部以外には想像できない。本所属の学部・学科・専攻の学修はどうなるのか？。学部横断課程ではなく、学部・学科に属し、関係科目の学部横断受講ではダメなのか。
- 「学部」ではなく「課程」で独立させることで他学部を横断したカリキュラムを学ぶことができるとのことだが、率直に分かりにくい、地域科学部の一コースとして設置するなどしてもよいと思う。他学部の中に入って学べるのはメリットだが本来その学部で学ぶ学生もいると思うと肩身が狭い。
- 入試内容について詳細を教えてください、どのような力をもった生徒を求めているのかが明確になるので、よろしく願いいたします。
- C.T.有推薦入試を設定すると良いと思います。
- 全員数学II・Bまで必須にして募集してほしい。
- 推薦（センター試験を課さない）の入試も行ってほしい。
- 推薦等で岐阜県内枠を作ってもらいたい（愛知県の人ばかりになっては・・・）。
- どのような資格や免許が取得できるのか
- 定員が100名ぐらいあるとありがたい。

<グループ：「あたらしい経営」に関して>

- 国公立の経営学部が少ないので、経営学を学びたい生徒にとってよい選択肢になると思います。
- 新しい経営の意義と必要性がもう一つはっきりしていない感じがします。
- 生徒が行きたくなる学部にして下さい。
- 裏面にある特色はすでに東海地区の大学がやっていると思いますが、どのように差別化をはかるのでしょうか。岐大工学部などは、産官学連係により地元企業とのつながりがありますが、同じように将来のビジョンを描ける学部になると良いと思います。
- 前任校が県立岐阜商業であったこともあり、経済/経営学部が標榜する方向性や、教育内容については、関心を持ってみてきました。が、ある意味、内容が盛りだくさんすぎて、学生がどの程度それらを消化できているのか、と疑問に思っていました。高校生は「経済学部」と「経営学部」の違いすらわからないところからスタートしているので、**まずは具体的に、そこでどんなことが学べるかを伝えていけたらと思っています。**
- 文化を学ぶ場が岐阜にほしいと感じている。

<グループ：設置の趣旨・内容>

- 新しく設置することにより、選択の幅が広がり、良いと思います。他大学になく、岐阜大にしかない教育課程であると魅力的になると思います。
- 岐阜近辺で経済・経営学部のある大学は限られているので、（特に国公立）設置されれば受験生の選択肢が広がると思います。
- 岐阜県の経済界に大きく影響できるような組織になることを期待しています。

- 岐阜県は「ふるさと教育」を展開していることから、小・中・高・大と一貫したものができればと考えている。
- 現在岐阜県ではふるさと教育の推進を行っています。ぜひ、地元活性化に向けて岐阜をどう発展させていくのかその中心的研究・組織を担っていただけるとよい。
- 国立大学として、地域の文系ニーズ（経営）をひろっていく必要が合う。地域科学との兼ね合い（岐阜大学内）の狭い視野で考えるのではなく、少子高齢化、県外流出の視点をふまえ積極的な導入が望まれる。
- 時代のニーズに合わせたものになることを期待する反面、学部力が強い中で、大学での立場を確立できるのが疑問（不安）。
- 実習の内容を企業に丸投げしないというところに魅力を感じます。ぜひそうして頂きたいです。
- 地元就職したい生徒は多いので、その道となるようなことが学べると良い。加納高校のFRH事業とも交流してもらえると良い。
- 地元の高校生が地元のまちづくりを考える国公立があると（増える）と岐阜の活性化にもつながると思うので是非新設してほしい。（他の学科を減らさないでほしい）
- 大教室での学生つめこみ型授業ではなく、生徒によりそった授業が行われると良いと思います。
- 他大学との差別化ができるようになれば、生徒にとって魅力的な大学となると思います。
- 学部横断的な枠組みについて、生徒にどのように伝えていけばいいか、モデルケースと予想される進路先（就職先）など生徒ひとりひとりがビジョンを描きやすいように提示していただくと助かります。
- 大企業等の学習よりも地方大学の地域活性化等のことを重点にしていた方が良くないと考えます。
- 認知度を高めるための取り組みが相当時間必要だと考える。社会科学系の学問がこの地にできることは歓迎するが、地域科学部との横断的に展開ができるのか、等学問領域に固執しないところがほしい
- 別紙の5つの特色に興味をもちました。楽しく学べそうだと思います。是非、成功させていたきたいです。

<グループ：既存学部との差異>

- 今ある地域科学部とはどのように差別化を図るのでしょうか？
- 既存の地域科学部との関係は？地域科学部を廃止して、経営学課程をせっちするのか？地域科学部を残して新たに経営学課程を設置するのか？名前を変えるだけか？地域科学部がバージョンアップするモノと考えて良いのでしょうか？地域科学部は存在してほしい。
- 教員の確保はどうするのか。地域科学部はどうなるのか。
- 経営学課程として、往還型授業でPBLを勧められるということであれば、それはむしろ既存の学部で進められるべき授業改善だと思います。また、複数学部を横断するといってももともと学部が少なく、なおかつ地域科学自体が文理融合のトランスアカデミックな学部たることを志向していたはずで、ここにきてプラスするというのには違和感があります。
- 純増での設置であれば、なお良かったです。地域科学部に大きな魅力があるとも思っていますので、地域科学部が縮小されないようお願いしたいです。
- 地域科学との明確な違いを示して頂きたいです。
- 地域科学部と経営学課程の違いがわかりにくい。地域科学部の再編問題が浮上した際に、学生や教職員、OBOGらからあがった反対や不安の声に、真摯に向き合ってきた結果の構想であると信じたい。
- 地域科学部との差別化はどうかかるのか。または、地域科学部の中に設置するのか、学部の中身をわかりやすくするためにも地域科学部の中をカテゴライズした方がよい。教育学部の定員が減るのは高校としてはうれしくない。
- 地域科学部との差異がわからない。なぜ今「経営」なのか。地域科学部と同じように見える「特色」とは何か、見えてきません。

- 地域科学部との違いが、わかりづらいと感じるが学部の横断での学びができ魅力を感じる。研究機関に求めることではないかもしれないが、4年間で身につく能力を活かし、社会の活躍の場（例えば就職に関して）がより明確の方が学ぶ内容がわかりやすいと思います。保護者のニーズが就職まであります。
- 地域科学部の廃止の動きの中で出てきた語である印象があり、受験生や教員も不安な思いで見守っている現状です。このあたりのいきさつを説明して頂くと、（地域科学部を含め）我々も安心して進路指導ができると思います。
- 地域科学部の中でも学べるように思います。違いを明確化していただけると生徒へのアドバイスもしやすいように思います。
- まちづくり、観光デザインプログラムの学びと地域科学部の担う学びとの差別化はどうするのか

<グループ：その他>

- 生徒によって異なります。
- まだ具体的なイメージがついていないため、全体像が分かってから考えたい。
- わかりづらいので、かなり説明が必要だと思います。
- 特にありません。
- 特にありません。
- なし
- 特にありません。
- 特になし

添付資料4 企業を対象としたアンケートの概要及び結果

企業アンケート調査

< 基本情報 >

対象企業

・本学で毎年実施する合同企業説明会に参加する254社に依頼し，153社から回答を得た（回収率60.2％）。

実施時期

令和元年12月17日～12月20日

< 調査結果概要 >

アンケートでは，経営学課程を卒業する学生について採用の意向を調査した結果，「積極的に採用したい」が71社（46.4％），「採用したい」が38社（24.8％）と，合計109社（71.2％）が経営学課程を卒業する学生の採用に興味を示している。

令和元年12月13日

採用ご担当者様

岐阜大学新学部設置準備室長
肥後陸輝

岐阜大学経営/マネジメント教育部門に関するアンケートへのご協力について（依頼）

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は本学の教育研究に対し格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本学では数年来、地域の皆様のご要望に応えるべく、経営/マネジメント教育部門の設置について準備を進めてまいりました。現在、新しい教育課程として、「経営学課程（仮称）」の令和3年4月設置に向けて検討中です。

つきましては、企業、自治体の方から本課程に対する考え方をお聞きし、さらに充実させるための参考とさせていただくため、本学の学生企業展にご参加いただきました企業、自治体を対象にアンケートを実施いたします。年末のご多忙な時期で誠に恐縮ですが、ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

ご回答につきましては、FAXにより12月19日（木）までにご返送いただきますようお願いいたします。お答えいただいた内容は、統計的に処理し、課程の設置審査の資料としても活用させていただくことを申し添えます。

敬具

アンケート送付先：岐阜大学新学部設置準備室

FAX番号：058-293-3441

本件問合せ先：岐阜大学新学部設置準備室 石原

電話：058-293-3440



国立大学法人
岐阜大学

令和3年4月設置に向け設置構想中。
本課程の概要等は予定であり、今後、変更になる場合があります。

岐阜大学に 経営学課程 (仮称) を設置予定



1. 社会の現状と岐阜大学に対する地域からの期待

近年、少子高齢化・人口減少・グローバル化が進展する中で、大学に対しても産業競争力（ビジネス）の強化や活力ある地方創生（まちづくり・観光）への貢献、イノベーションの創出を担う真の「経営力」をもった人材輩出への期待が高まっています。

本学はこれまでに「地域ととけむ大学」であるべきことを理念とし、これまで多くの人材を輩出し、地方創生に貢献してきました。しかし、複雑かつ多様化する地域課題を解決するためには、新しいスタイルの経営やマネジメント能力をそなえ、地方創生の実現に貢献できる人材育成に主眼を置いた特色ある教育部門の創設が求められています。そこでより一層、地域の教育研究拠点として強化および貢献するために、「新しい経営」を学ぶ場を創設することになりました。

2. 岐阜大学が目指す「新しい経営」とは？

地域が抱える課題は、ビジネスやまちづくり、観光など、経済活動や生活を支える多様な分野に存在しており、今後さらに複雑かつ深刻化すると予想されています。次世代を担い、地域を牽引する人材として、「多面的にモノゴトの本質をとらえ、新たな発想や実践によって問題を解決する能力をもつ人材」の重要性が認識されており、そのような人材を育成することが大学に期待されています。

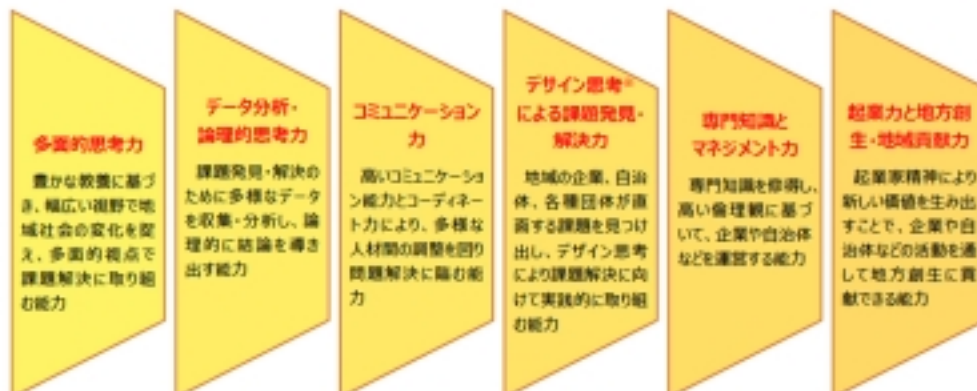
そこで、ビジネス・まちづくり・観光を中心にして、多面的思考やマネジメント思考を身につけて、的確な経営判断ができ、経営にイノベーションをもたらし、活力ある豊かな社会の創造、すなわち地方創生の実現に貢献できる人材を育成します。



新しい学びの場「**経営学課程**（仮称）」を**岐阜大学**に設置予定

3. 経営学課程（仮称）で身につく能力（卒業認定・学位方針）

令和3年4月、岐阜大学に、複数の学部を横断して経営/マネジメントを軸としたビジネス・まちづくり・観光について学ぶことのできる「**経営学課程**（仮称）」を、これまでの学部教育を超えた新しい制度を活用し、設置する予定です。本課程では、学部を横断し、さらに実社会と強くつながることで、より実践的なカリキュラムを通常の学部と同じく4年間で学び、学士（経営学）を取得し、以下の6つの能力をそなえた人材を輩出します。



※デザイン思考とは：問題を解決するための考え方のことで、課題抽出と解決へ向けた思考方法と手法を利用して、社会のニーズを利便者視点で見極め、新しい価値に結び付けることによりイノベーションにつなげる考え方。

4. 経営学課程（仮称）の主な専門カリキュラム※

能力	多面的思考力	データ分析・論理的思考力	コミュニケーション力	デザイン思考による課題発見・解決力	専門知識とマネジメント力	起業力と地方創生・地域貢献力
共通	総合力の修得と学習成果のまとめ 卒業研究 実践的能力の修得 ●専門演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ				●：独立開講科目 ●：他学部開講科目 ●：英語・演習	●：名古屋大学開講科目 ●：地域志向科目（COC+）
文系	多分野科目 地域防災学 防災学Ⅱ 防災学Ⅲ	データサイエンス科目 財務諸表論Ⅱ 計量経済学	コミュニケーション科目 観光学Ⅰ・Ⅱ アートの文化学Ⅰ 認知心理学	デザイン思考科目 地域デザイン論Ⅰ・Ⅱ 空間デザイン論Ⅰ・Ⅱ 環境デザイン	マネジメント科目 経営学Ⅰ・Ⅱ アグリビジネス論 アントレプレナーシップ	地方創生科目 アントレプレナーシップ論Ⅰ・Ⅱ ●ビジネスデザイン実習 ●観光デザイン実習 ●まちづくりデザイン実習
理工系	都市形成史 防災学Ⅱ 防災学Ⅲ 生産環境関係法規	財務諸表論Ⅰ お金の文化学Ⅱ 簿記論	応用英語 アートの文化学Ⅰ 経営学Ⅱ	デザイン思考論Ⅰ 技術表現法 景観デザイン 都市交通計画	経営組織論Ⅱ 経営戦略論Ⅰ マーケティング論Ⅱ 登山保全論	地域デザイン論Ⅰ 農業環境修復学 産業リサーチ実践
芸術系	社会基盤工学概論 生物環境科学概論	情報処理演習 統計学 お金の文化学Ⅰ 会計学	21世紀のデザイン論 初年度セミナー	社会からの経営入門 企業論Ⅰ・Ⅱ 現代経済学	経営組織論Ⅰ マーケティング論Ⅰ	●デザイン活動実習 産業協働型のキャリアⅠ

※掲載科目は一部です。内容は予定であり、今後、変更になる場合がございます。

5. 学部教育を超えた新しい教育スタイル「学部等連係課程」

これまで、入りたい学部を選んで入学し、その学部に所属して4年間学ぶことが当たり前でした。ひとつの専門性は深まりますが、社会のしくみをつかったり、これからのまちのライフスタイルを創造するためには、複数の専門分野をまたいで、総合的に考えたり、学んだりする方法が必要になってきています。

そこで、文部科学省が令和元年に新たな枠組みとして制度化したのが、「学部等連係課程」です。

岐阜大学の経営学課程（仮称）では、**既存の学部を横断するようなカタチでプラットフォームを築き、実社会の現象・問題に向き合う総合的な力を学びます**（下図参照）。まさに、デザイン経営的視点からビジネス・まちづくり・観光の課題に取り組む、最先端の学び舎となります。

卒業したら、ここまで成長します！

本課程では、新たな発想や実践によって問題を解決して時代を拓く能力を持つ人を育てます。

- ✓ 経営に関する問題解決ができる
- ✓ 地域における最適な経営戦略がわかる
- ✓ 企業・自治体等でリーダーとして活躍する

※地域科学部、工学部、応用生物科学部で実施されるビジネス・まちづくり・観光に関連する講義と、伝統的な経営学としての簿記論、会計学、経営組織論、企業論、リスクマネジメント論などの講義と、これらを繋ぐ経営をコアとしたデザイン思考・マーケティング論、アントレプレナーシップ論などの講義を1つの教育課程として融合するとともに、フィールドを活用した実習を組み入れ、多面的な素養を備えた実践的な課題解決を可能とするカリキュラムとしています。

岐阜県の未来を担うビジネスをデザインする人材、まちづくりを行う人材、観光をデザインする人材、3種類は個別の能力に特化した人材ではなく、工学・農学・社会科学等を踏まえた経営/マネジメント教育により、デザイン経営的視点から資源を活かした活力づくりに貢献できる人材育成を目指します

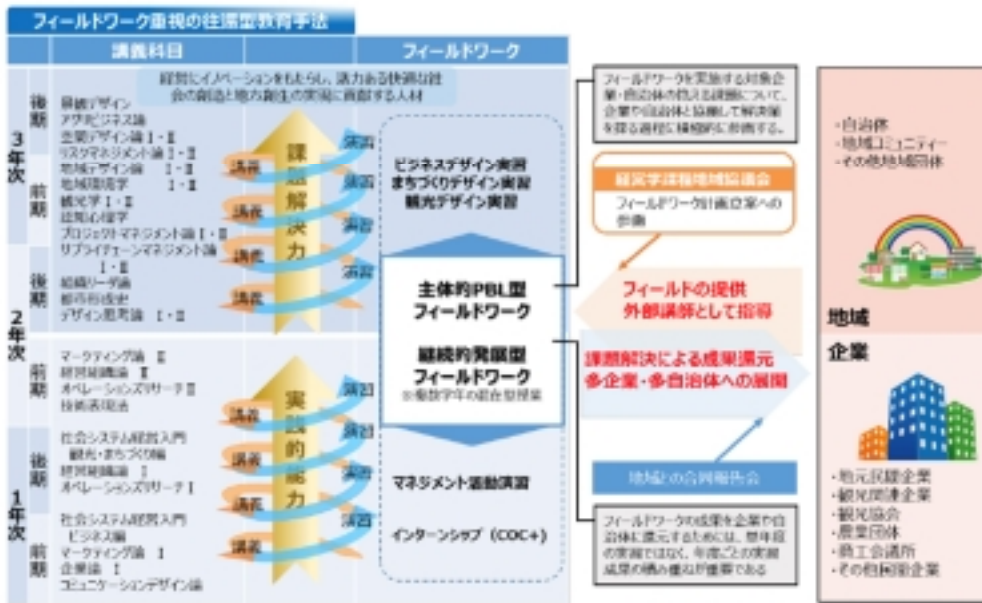


プログラム：ビジネス、まちづくり、観光、それぞれの視点から学ぶために配置された授業科目を連携する教育プロセス

6. 地域社会と育てる実践型教育

本課程では、企業や自治体などが直面している実際の複合的な課題解決に向け、数年間継続して実習に取り組む科目を必須としています。この実習と、関連する講義を交互に繰り返し行うことで、実践とそれに必要な知識を段階に応じて学ぶことができる「往還型」教育を行います。

また、実際の課題解決へ向けて、自ら情報収集と試行錯誤をしながら積み上げる学習（課題解決型学習；PBL）を行い、高い実践力を養成します。



7. 社会人も学べる

「組織リーダー育成講座*」等を公開講座等として社会人へ開放することで、企業や自治体の管理職・管理職予備軍の人材育成の場としてもご利用できます。

※組織リーダー育成講座の内容：

- | | |
|----------------------------------|----------------------------|
| (1) 組織の人的構成と事業目標の関連性 | (5) 人間の心理状態と組織目標の関係分析 |
| (2) 組織リーダー（管理職・管理職予備軍）としての理念と心構え | (6) プラス思考とマイナス思考のセルフコントロール |
| (3) 自己成長するための思考法（理解力と行動力） | (7) 組織リーダーから地域リーダーへの発展プロセス |
| (4) 組織内の人間関係構築法 | |

【お問合せ先】

岐阜大学（担当：石原）

E-mail：gjnq00002@jim.gifu-u.ac.jp

TEL：058-293-3440

FAX：058-293-3441

〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学



V. 新教育組織「経営学課程（仮称）」では、次の能力を身につけた学生を輩出する予定です。これらについて、意義を感じますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	とても 意義を 感じる	ある程度 意義を 感じる	どちら でも ない	あまり 意義を 感じない	まったく 意義を 感じない
● 多面的思考力： 豊かな教養に基づき、幅広い視野で地域社会の変化を捉え、多面的視点で課題解決に取り組む能力	5	4	3	2	1
● データ分析・論理的思考力： 課題発見・解決のために多様なデータを収集・分析し、論理的に結論を導き出す能力	5	4	3	2	1
● コミュニケーション力： 高いコミュニケーション能力とコーディネート力により、多様な人材間の調整を図り問題解決に臨む能力	5	4	3	2	1
● デザイン思考による課題発見・解決力： 地域の企業、自治体、各種団体が直面する課題を見つけ出し、デザイン思考により課題解決に向けて実践的に取り組む能力	5	4	3	2	1
● 専門知識とマネジメント力： 専門知識を修得し、高い倫理観に基づいて、企業や自治体などを運営する能力	5	4	3	2	1
● 起業力と地方創生・地域貢献力： 起業家精神により新しい価値を生み出すことで、企業や自治体などの活動を通して地方創生に貢献できる能力	5	4	3	2	1

VI. 岐阜大学「経営学課程（仮称）」が設置された場合、本課程の卒業生を採用することについて、どのようにお考えですか。

- 積極的に採用したい
- 採用したい
- 採用を検討する
- 採用は考えない

VII. 岐阜大学「経営学課程（仮称）」に経営／マネジメント等に関する公開講座等（例えば、組織リーダー育成講座など）が開設された場合、貴社の社員教育の一環として講座等の必要性について、どのようにお考えですか。

- 非常に必要性を感じる
- 必要性を感じる
- 少し必要性を感じる
- あまり必要性を感じない

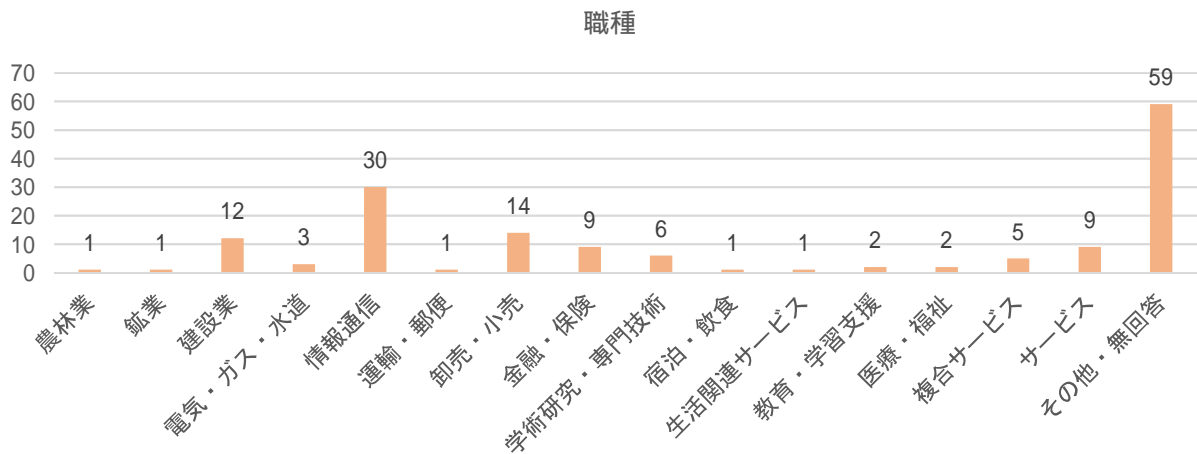
VIII. 新教育組織「経営学課程（仮称）」について、ご意見がありましたら、お聞かせ下さい。特に、学生に身につけてほしい能力や、社員に参加させたい内容、などありましたら、ご自由に記述下さい。

ご協力ありがとうございました。

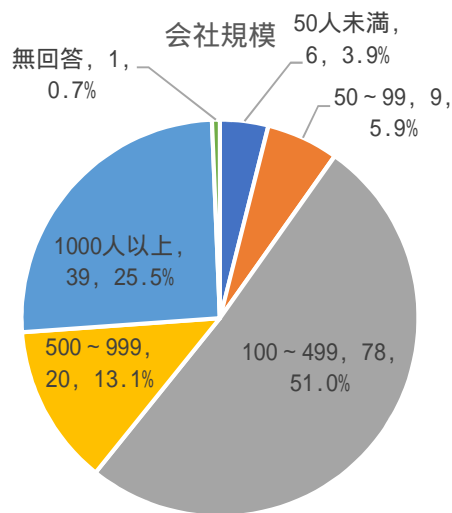
アンケート結果詳細

【企業】岐阜大学 経営学課程（仮称）に関するアンケート

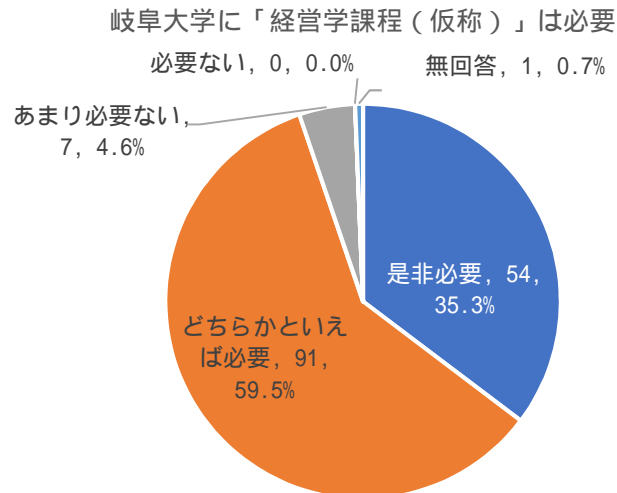
・ 貴社の業種について教えてください。（ 1社複数業種の場合も含む）



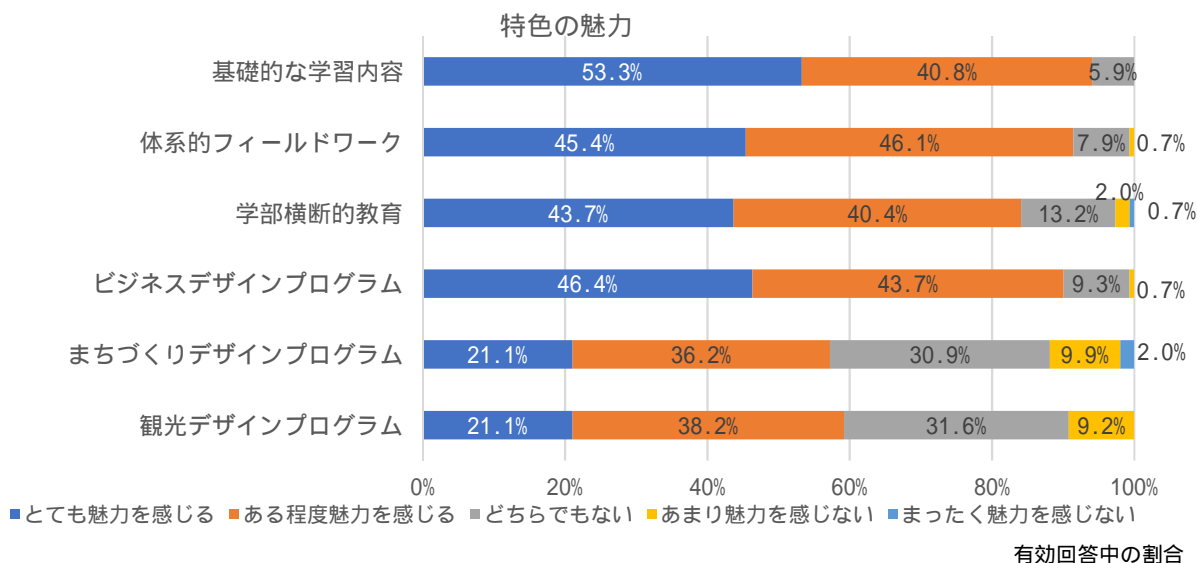
・ 貴社の規模について教えてください。



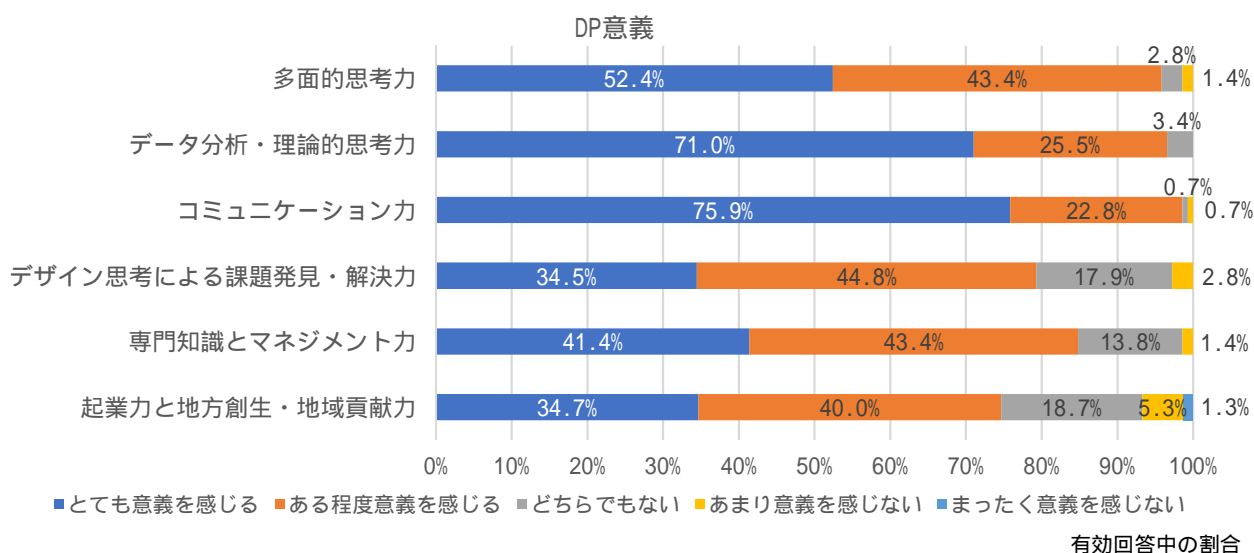
・ 岐阜大学は、企業や自治体で活躍する人材育成を目的とした、新教育組織「経営学課程」の設置を予定しています。岐阜大学に「経営学課程（仮称）」は必要だと思われますか。



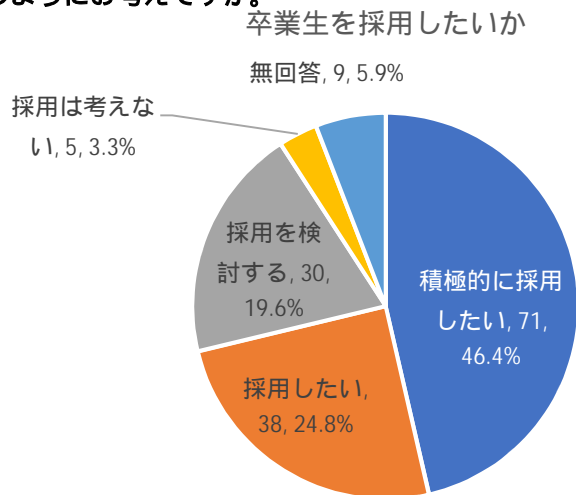
・新教育組織「経営学課程」では、次のような特色ある教育を行う予定です。これらの特色について、どの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに）



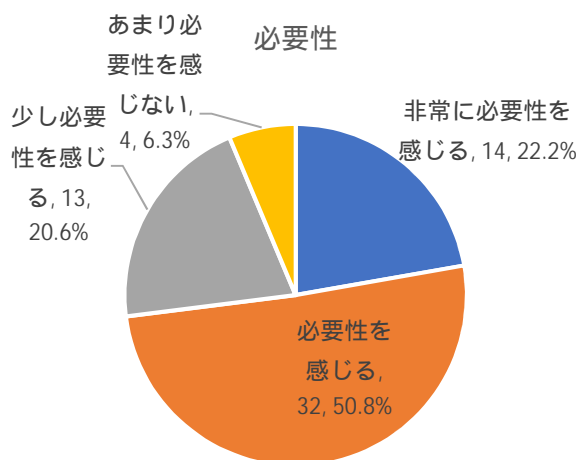
・新教育組織「経営学課程」では、次のように身につく能力をディプロマポリシーとして予定しています。これらについて、意義を感じますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに）



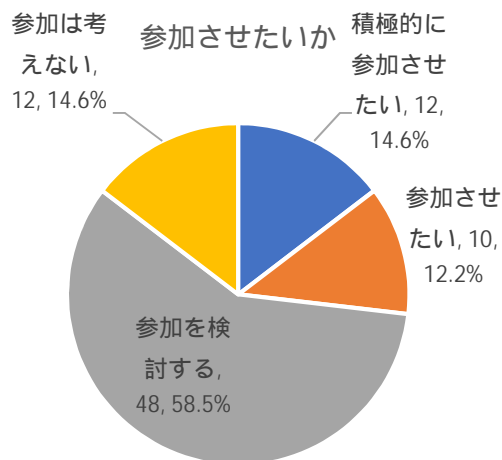
・岐阜大学「経営学課程（仮称）」が設置された場合、本課程の卒業生を採用することについて、どのようにお考えですか。



(FAX) . 岐阜大学「経営学課程（仮称）」に経営／マネジメント等に関する公開講座等（例えば、組織リーダー育成講座など）が開設された場合、貴社の社員教育の一環として講座等の必要性について、どのようにお考えですか。



(WEB) . 岐阜大学「経営学課程（仮称）」に公開講座等（例えば、組織リーダー論など）が開設された場合、貴社の社員教育の一環として講座等に参加させることについて、どのようにお考えですか。



・新教育組織「経営学課程（仮称）」について、ご意見がありましたら、お聞かせ下さい。特に、学生に身につけてほしい能力や、社員に参加させたい内容、などありましたら、ご自由に記述下さい。

- 経営者視点での判断基準、マネジメントの手法等を習得されることを期待しています。
- 経営の考え方はどの業種にも通じると思います。より有意義な教育をお願いいたします。
- 経営学ということなので、ビジネス的な各種教養、能力を実践的に養って欲しい。
- コミュニケーション力をしっかりと定義づけしたうえで、その能力を身につけてほしいと思います。単に「人と会話することが苦にならない」ではなく、相手の言葉足らずな部分などもジェスチャー、顔色、声色などから本意を適切に察知し、表面的言語だけでなく、非言語部分もきちんと読み取れるというコミュニケーションができる学生を輩出してほしいと思います。
- 地域科学部との違いがあまり明確ではないような気がしました。地域科学部の学習過程に「学部等連係過程」を適応すれば経営学過程の内容を補えるのではないかと思います。
- 主体性、やり遂げる力、現実・事実を多くの情報の中から見極める力、前に進める対応力・創造力の前提である見分を含めた多種多様な経験（経験で得た知識の組み合わせが創造力）、コミュニケーション能力（相手が伝えたいことを理解する、自分の考えを伝えるを、言葉で、文章で）
- 経営学の観点で、企業における人材開発・組織開発をテーマに研究を行って頂けるといいと思います。
- 弊社の採用対象となる学生が、理系の学生のみとなりますため、上記あまり参考になる回答とならずに大変申し訳ございません。
- ディプロマポリシーに記載のコミュニケーション力（多様な人材間の調整を図り問題解決に臨む能力）は企業の中でも非常に重要な点と認識しており、大変共感いたしました。
- 新課程のビジョンを拝見し、御校の経営学課程での教育にとっても期待が高まりました。
- 専門カリキュラム、教育手法ともに非常に実践的で魅力的な計画だと思います。これらのテーマを学生が自主的にモチベーション高く学び、成功体験と失敗体験を経験できるような運営をしていただければ幸いです。
- 特にありません。
- 多方面で活躍している人材はもちろん、その全てのカテゴリの知識があるに越したことはないと感じます。専門分野のみの人材であるより、どの時代にもどの部署にでも活躍できる人材が重宝されますので、この学科の内容は大変興味深く感じました。
- 入力項目がありませんでしたので、こちらで回答します。V . 起業力と地方創生・地域貢献力：3（どちらでもない）
- 様々な人が働く会社の中で、協調性をもって活躍できる能力
- 特になし
- 地元企業との連携を深めていただきたい
- 弊社も近年、マイカーを通じた地方創生に積極的に取り組んで居ります。御校の学生様と産学連携などの形態で共に学べる関係性が構築できたら素晴らしいと感じております。

添付資料5 自治体を対象としたアンケートの概要及び結果

自治体アンケート調査

< 基本情報 >

対象自治体

- ・岐阜県内地方自治体42自治体に依頼し，20自治体から回答を得た（回収率47.6％）。

実施時期

令和元年12月17日～12月20日

< 調査結果概要 >

アンケートでは，経営学課程を卒業する学生について採用の意向を調査した結果，「積極的に採用したい」が6（30.0％），「採用したい」が7（35.0％）と，合計13自治体（65.0％）が経営学課程を卒業する学生の採用に興味を示している。

令和元年12月13日

岐阜県内各市町村
採用ご担当者様

岐阜大学新学部設置準備室長
肥後 隼輝

岐阜大学経営/マネジメント教育部門に関するアンケートへのご協力に
ついて（依頼）

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は本学の教育研究に対し格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本学では数年来、地域の皆様のご要望に応えるべく、経営/マネジメント教育部門の設置について準備を進めてまいりました。現在、新しい教育課程として、「経営学課程（仮称）」の令和3年4月設置に向けて検討中です。

つきましては、岐阜県内自治体の方から本課程に対する考え方をお聞きし、さらに充実させるための参考とさせていただくためのアンケートを計画いたしましたので、年末のご多忙な時期で誠に恐縮ですが、ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

ご回答につきましては、FAXにより12月19日（木）までにご返送いただきますようお願いいたします。お答えいただいた内容は、統計的に処理し、課程の設置審査の資料としても活用させていただくことを申し添えます。

敬具

アンケート送付先：岐阜大学新学部設置準備室
FAX番号：058-293-3441

本件問合せ先：岐阜大学新学部設置準備室 石原
電話：058-293-3440



国立大学法人
岐阜大学

令和3年4月設置に向け設置構想中。
本課程の概要等は予定であり、今後、変更になる場合があります。

岐阜大学に 経営学課程 (仮称) を設置予定



1. 社会の現状と岐阜大学に対する地域からの期待

近年、少子高齢化・人口減少・グローバル化が進展する中で、大学に対しても産業競争力（ビジネス）の強化や活力ある地方創生（まちづくり・観光）への貢献、イノベーションの創出を担う真の「経営力」をもった人材輩出への期待が高まっています。

本学はこれまでに「地域にとけこむ大学」であるべきことを理念とし、これまで多くの人材を輩出し、地方創生に貢献してきました。しかし、複雑かつ多様化する地域課題を解決するためには、新しいスタイルの経営やマネジメント能力をそなえ、地方創生の実現に貢献できる人材育成に主眼を置いた特色ある教育部門の創設が求められています。そこでより一層、地域の教育研究拠点として強化および貢献するために、「新しい経営」を学ぶ場を創設することになりました。

2. 岐阜大学が目指す「新しい経営」とは？

地域が抱える課題は、ビジネスやまちづくり、観光など、経済活動や生活を支える多様な分野に存在しており、今後さらに複雑かつ深刻化すると予想されています。次世代を担い、地域を牽引する人材として、「多面的にモノゴトの本質をとらえ、新たな発想や実践によって問題を解決する能力をもつ人材」の重要性が認識されており、そのような人材を育成することが大学に期待されています。

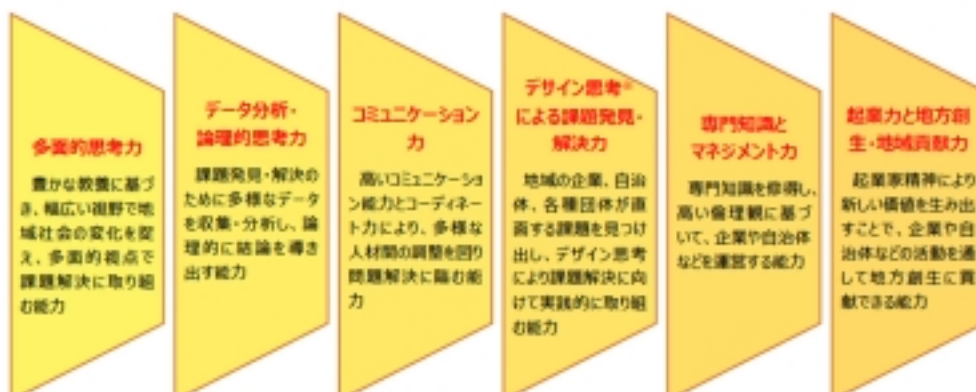
そこで、ビジネス・まちづくり・観光を中心にして、多面的思考やマネジメント思考を身につけて、的確な経営判断ができ、経営にイノベーションをもたらし、活力ある豊かな社会の創造、すなわち地方創生の実現に貢献できる人材を育成します。



新しい学びの場「**経営学課程**（仮称）」を**岐阜大学**に設置予定

3. 経営学課程（仮称）で身につく能力（卒業認定・学位方針）

令和3年4月、岐阜大学に、複数の学部を横断して経営/マネジメントを軸としたビジネス・まちづくり・観光について学ぶことのできる「**経営学課程**（仮称）」を、これまでの学部教育を超えた新しい制度を活用し、設置する予定です。本課程では、学部を横断し、さらに実社会と強くつながることで、より実践的なカリキュラムを通常の学部と同じく4年間で学び、学士（経営学）を取得し、以下の6つの能力をそなえた人材を輩出します。



※デザイン思考とは：問題を解決するための考え方のことで、課題抽出と解決へ向けた思考方法と手法を利用して、社会のニーズを創業者視点で見極め、新しい価値に結び付けることによりイノベーションにつなげる考え方。

4. 経営学課程（仮称）の主な専門カリキュラム*

能力	多面的思考力	データ分析・論理的思考力	コミュニケーション力	デザイン思考による課題発見・解決力	専門知識とマネジメント力	起業力と地方創生・地域貢献力
共通	総合力の修得と学習成果のまとめ 卒業研究 実践的能力の修得 ●専門演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ				●独立開講科目 ●他学部開講科目 ●特色●：英語・演習	●名古屋大学開講科目 ●地域志向科目（COC+）
文系	多分科目群 地域防災学 まちづくり論Ⅱ	データサイエンス科目群 財務諸表論Ⅱ 計量経済学	コミュニケーション科目群 観光学Ⅰ・Ⅱ アートの文化の論Ⅰ 認知心理学	デザイン思考科目群 地域デザイン論Ⅲ 空間デザイン論Ⅰ・Ⅱ 環境デザイン	マネジメント科目群 経営学入門Ⅰ・Ⅱ アグリビジネス論 アントレプレナーシップ論	地方創生科目群 アントレプレナーシップ論Ⅰ・Ⅱ ●ビジネスデザイン実習 ●観光デザイン実習 ●まちづくりデザイン実習
理工系	都市形成史 まちづくり論Ⅰ 生産環境関係法規	財務諸表論Ⅰ お金の文化の論Ⅱ 簿記論	応用英語 アートの文化の論Ⅰ 経営学概論	デザイン思考論Ⅰ 技術表現法 景観デザイン 都市交通計画	経営組織論Ⅱ 経営戦略論Ⅰ マーケティング論Ⅱ 登山保全論	地域デザイン論Ⅰ 農業環境修復学 産業リサーチ実践
芸術系	社会基盤工学概論 生物環境科学概論	情報処理演習 統計学 お金の文化の論Ⅰ 会計学	21世紀のデザイン論 初年度セミナー	社会からの経営入門 企業論Ⅰ・Ⅱ 現代経済学	経営組織論Ⅰ マーケティング論Ⅰ	●まちづくり活動実習 産業協働型のキャリアⅠ

*掲載科目は一部です。内容は予定であり、今後、変更になる場合がございます。

5. 学部教育を超えた新しい教育スタイル「学部等連係課程」

これまで、入りたい学部を選んで入学し、その学部に所属して4年間学ぶことが当たり前でした。ひとつの専門性は深まりますが、社会のしくみをつくらせ、これからのまちのライフスタイルを創造するためには、複数の専門分野をまたいで、総合的に考えたり、学んだりする方法が必要になってきています。

そこで、文部科学省が令和元年に新たな枠組みとして制度化したのが、「学部等連係課程」です。

岐阜大学の経営学課程（仮称）では、**既存の学部を横断するようなカタチでプラットフォームを築き、実社会の現象・問題に向き合う総合的な力を学びます**（下図参照）。まさに、デザイン経営的視点からビジネス・まちづくり・観光の課題に取り組む、最先端の学び舎となります。

卒業したら、ここまで成長します！

本課程では、新たな発想や実践によって問題を解決して時代を拓く能力を持つ人を育てます。

- ✓ 経営に関する問題解決ができる
- ✓ 地域における最適な経営戦略がわかる
- ✓ 企業・自治体等でリーダーとして活躍する

※地域科学部、工学部、応用生物科学部で実施されるビジネス・まちづくり・観光に関連する講義と、伝統的な経営学としての簿記論、会計学、経営組織論、企業論、リスクマネジメント論などの講義と、これらを繋ぐ経営をコアとしたデザイン思考・マーケティング論、アントレプレナーシップ論などの講義を1つの教育課程として融合するとともに、フィールドを活用した実習を組み入れ、多面的な素養を備えた実践的な課題解決を可能とするカリキュラムとしています。

岐阜県の未来を担うビジネスをデザインする人材、まちづくりを行う人材、観光をデザインする人材、3種類は個別の能力に特化した人材ではなく、工学・農学・社会科学等を踏まえた経営/マネジメント教育により、デザイン経営的視点から資源を活かした活力づくりに貢献できる人材育成を目指します

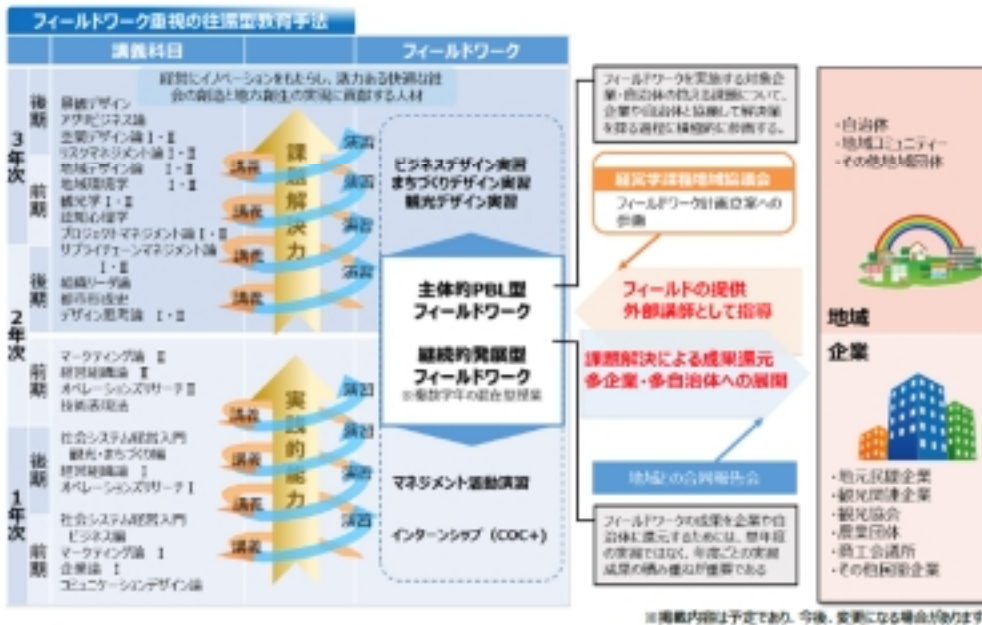


プログラム：ビジネス、まちづくり、観光、それぞれの視点から学ぶために配置された授業科目を連携する教育プロセス

6. 地域社会と育てる実践型教育

本課程では、企業や自治体などが直面している実際の複合的な課題解決に向け、数年間継続して実習に取り組む科目を必須としています。この実習と、関連する講義を交互に繰り返し行うことで、実践とそれに必要な知識を段階に応じて学ぶことができる「往還型」教育を行います。

また、実際の課題解決へ向けて、自ら情報収集と試行錯誤をしながら積み上げる学習（課題解決型学習；PBL）を行い、高い実践力を養成します。



7. 社会人も学べる

「組織リーダー育成講座*」等を公開講座等として社会人へ開放することで、企業や自治体の管理職・管理職予備軍の人材育成の場としてもご利用できます。

※組織リーダー育成講座の内容：

- | | |
|----------------------------------|----------------------------|
| (1) 組織の人的構成と事業目標の関連性 | (5) 人間の心理状態と組織目標の関係分析 |
| (2) 組織リーダー（管理職・管理職予備軍）としての理念と心構え | (6) プラス思考とマイナス思考のセルフコントロール |
| (3) 自己成長するための思考法（理解力と行動力） | (7) 組織リーダーから地域リーダーへの発展プロセス |
| (4) 組織内の人間関係構築法 | |

【お問合せ先】

岐阜大学（担当：石原）

E-mail：gjnq00002@jim.gifu-u.ac.jp

TEL：058-293-3440

FAX：058-293-3441

〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1 岐阜大学



【自治体】岐阜大学 経営学課程（仮称）に関するアンケート

岐阜大学では、令和3年（2021年）4月から「経営学課程（仮称）」（従来の学部に対応）の設置を予定しています。このアンケートは、自治体の方から経営学課程に対する考え方をお聞きし、岐阜大学の新しい教育組織をさらに充実させるための参考とさせていただくものです。

このアンケートで得られた回答内容は、統計資料としてのみ利用し、個人が特定されることは一切ありません。アンケートへのご協力をお願いいたします。

I. 岐阜大学は、企業や自治体で活躍する人材育成を目的とした、新教育組織「経営学課程（仮称）」の設置を予定しています。岐阜大学に「経営学課程（仮称）」は必要だと思われますか。

- 是非必要だと思う
 どちらかといえば必要だと思う
 あまり必要だと思わない
 必要ないと思う

II. 新学部「経営学課程（仮称）」では、次のような特色ある教育を行う予定です。これらの特色について、どの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	とても 魅力 を感じる	ある程度 魅力 を感じる	どちら でも ない	あまり 魅力 を感じない	まったく 魅力 を感じない
● 基礎的な学習内容： 経営学の基盤となる知識、問題解決や調査分析に有効なデザイン思考、統計・情報処理、などをバランス良く学びます。 （企業論・会計学・社会システム学など）	5	4	3	2	1
● 体系的フィールドワーク： 企業や地域など経営の現場を経験し、学びを理論と結び実践的実習を通して、フィールドのある経営学を学びます。	5	4	3	2	1
● 学部横断的教育 幅広い視野で地域社会の変化を捉え、多面的視点で多分野にまたがる地域課題解決に取り組むことができる能力を身につけるため、複数の学部が連携した教育を実施します。	5	4	3	2	1
● ビジネスデザインプログラム： 企業経営に関する専門性を深め、広い視野を持ってビジョンを描き、自ら実践できる能力を身に付けます。 （経営戦略論・マーケティング論など）	5	4	3	2	1
● まちづくりデザインプログラム： 地域・都市の成り立ちや環境に対する専門性を深め、自治体やNPOにおいて、独自に地方創生を図り、持続可能な地域経営を生み出す力を身に付けます。 （地域デザイン論・都市形成史など）	5	4	3	2	1
● 観光デザインプログラム： 観光事業と観光が生み出す価値、地域ブランドの構築手法を学んで、観光プランの企画立案を行い、地域資源の活用方法を考える力を身に付けます。 （地域環境学・観光学など）	5	4	3	2	1

【ウラ面もあります】→

Ⅲ. 新教育組織「経営学課程（仮称）」では、次の能力を身につけた学生を輩出する予定です。これらについて、意義を感じますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください。）

	とても 意義を 感じる	ある程度 意義を 感じる	どちら でも ない	あまり 意義を 感じない	まったく 意義を 感じない
● 多面的思考力： 豊かな教養に基づき、幅広い視野で地域社会の変化を捉え、多面的視点で課題解決に取り組む能力	5	4	3	2	1
● データ分析・論理的思考力： 課題発見・解決のために多様なデータを収集・分析し、論理的に結論を導き出す能力	5	4	3	2	1
● コミュニケーション力： 高いコミュニケーション能力とコーディネート力により、多様な人材間の調整を図り問題解決に臨む能力	5	4	3	2	1
● デザイン思考による課題発見・解決力： 地域の企業、自治体、各種団体が直面する課題を見つけ出し、デザイン思考により課題解決に向けて実践的に取り組む能力	5	4	3	2	1
● 専門知識とマネジメント力： 専門知識を修得し、高い倫理観に基づいて、企業や自治体などを運営する能力	5	4	3	2	1
● 起業力と地方創生・地域貢献力： 起業家精神により新しい価値を生み出すことで、企業や自治体などの活動を通して地方創生に貢献できる能力	5	4	3	2	1

Ⅳ. 岐阜大学「経営学課程（仮称）」が設置された場合、本課程の卒業生を採用することについて、どのようにお考えですか。

- 積極的に採用したい
- 採用したい
- 採用を検討する
- 採用は考えない

Ⅴ. 岐阜大学「経営学課程（仮称）」に経営／マネジメント等に関する公開講座等（例えば、組織リーダー育成講座など）が開設された場合、貴所の職員教育の一環として講座等の必要性について、どのようにお考えですか。

- 非常に必要性を感じる
- 必要性を感じる
- 少し必要性を感じる
- あまり必要性を感じない

Ⅵ. 新教育組織「経営学課程（仮称）」について、ご意見がありましたら、お聞かせ下さい。特に、学生に身につけてほしい能力や、職員に参加させたい内容、などありましたら、ご自由に記述下さい。

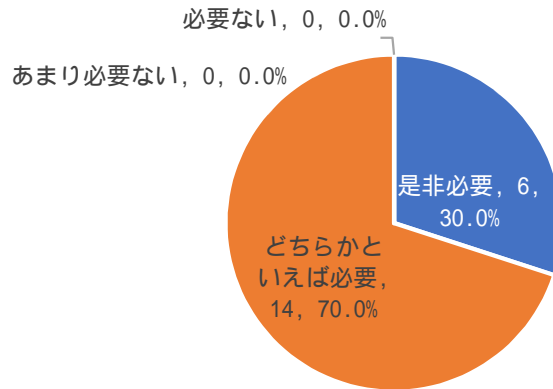
ご協力ありがとうございました。

アンケート結果詳細

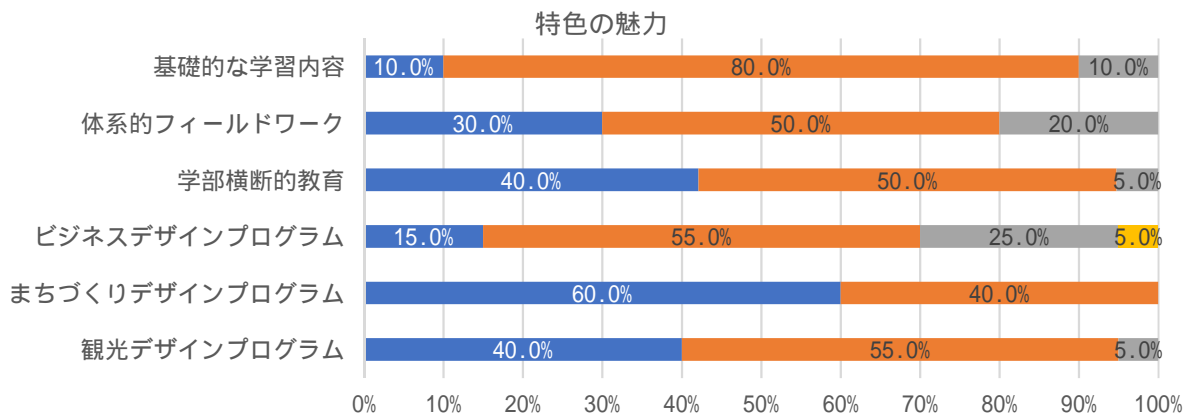
【自治体】岐阜大学 経営学課程（仮称）に関するアンケート(n=20)

- 岐阜大学は、企業や自治体で活躍する人材育成を目的とした、新教育組織「経営学課程（仮称）」の設置を予定しています。岐阜大学に「経営学課程（仮称）」は必要だと思われませんか。

岐阜大学に「経営学課程（仮称）」は必要

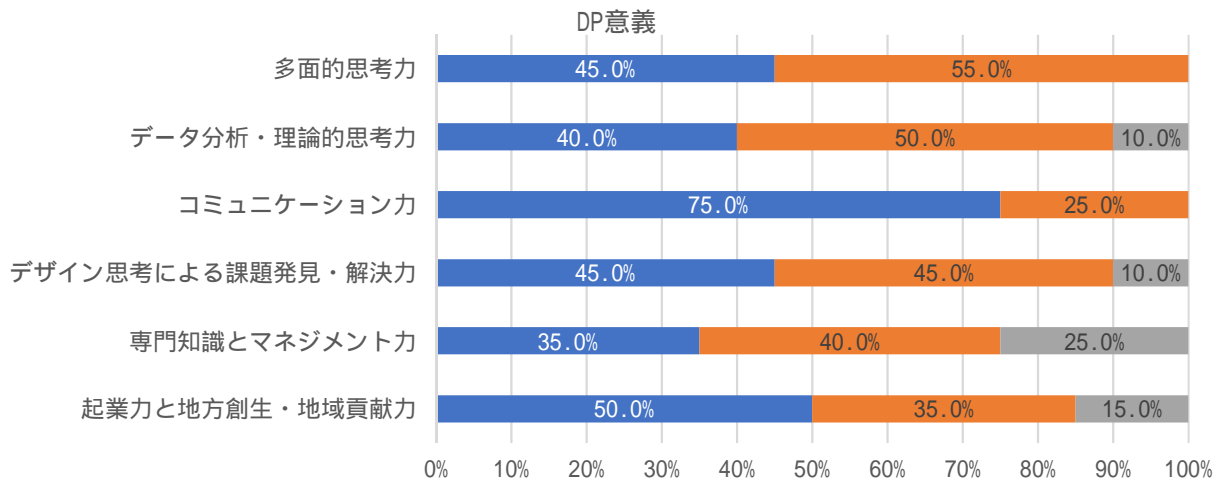


- 新学部「経営学課程（仮称）」では、次のような特色ある教育を行う予定です。これらの特色について、どの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに ）



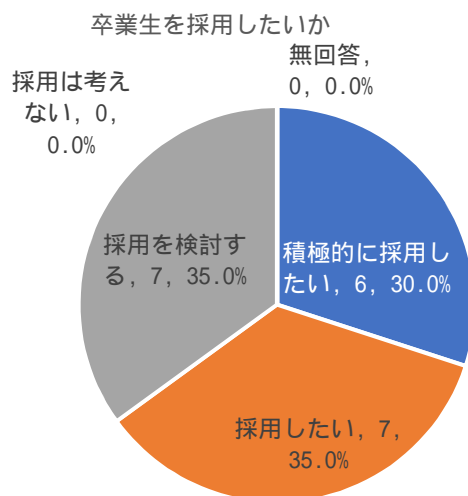
■とても魅力を感じる ■ある程度魅力を感じる ■どちらでもない ■あまり魅力を感じない ■まったく魅力を感じない
有効回答中の割合

- 新教育組織「経営学課程」では、次のように身につく能力をディプロマポリシーとして予定しています。これらについて、意義を感じますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに ）

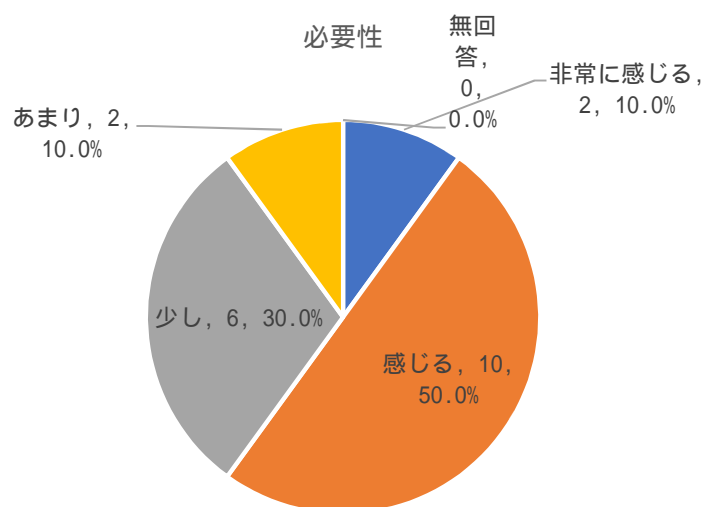


■とても意義を感じる ■ある程度意義を感じる ■どちらでもない ■あまり意義を感じない ■まったく意義を感じない
有効回答中の割合

- ・ 岐阜大学「経営学課程（仮称）」が設置された場合，本課程の卒業生を採用することについて，どのようにお考えですか。



- ・ 岐阜大学「経営学課程（仮称）」に公開講座等（例えば、組織リーダー論など）が開設された場合，貴所の職員教育の一環として講座等に参加させることについて，どのようにお考えですか。



- ・ 新教育組織「経営学課程（仮称）」について，ご意見がありましたら，お聞かせ下さい。特に，学生に身につけてほしい能力や，職員に参加させたい内容，などありましたら，ご自由に記述下さい。

- 社会人としての常識